

百年の彩りを
次の100年の
輝きへ



平成29年 八王子市市制100周年記念誌



八王子市 市制100周年記念誌

Hachioji City 100th Anniversary Memorial Booklet

発行年月／平成29年10月

発行／八王子市

〒192-8501 東京都八王子市元本郷町3-24-1

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

TEL 042-626-3111 (代表)

Published by Hachioji City, 3-24-1 Motohongo-cho, Hachioji City, Tokyo



輝きの 100年に向けて

八王子市長 石森 孝志

大正6年の市制施行以来、八王子市は9町村との合併を経ながら発展を続け、平成27年、東京都初となる中核市に移行し、地方分権の推進役として自立した都市を築いています。市制施行100周年という特別な年に市長として迎えられ、この記念の節目を市民の皆様とともに祝いできることに喜びを感じております。

この記念誌は、100周年を迎えた八王子の姿を市民の皆様やゆかりの方々と、時空を超えて共有できるように、多くの皆様のご協力により作成しました。百年の歴史や多様な市民活動、豊かなまちの魅力を市民のあふれる笑顔とともに紹介しています。

ご登場いただいた皆様にあらためて厚くお礼申しあげるとともに、本誌が皆様にとってふるさと八王子への再確認につながり、愛着をより一層深めていただく一助となれば幸いです。

次の100年の輝きに向け、これからも市民の皆様と手を携えて、若い世代が夢と希望が持てる魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

Striving for Another 100 Brilliant Years

As Mayor of Hachioji, I am delighted to commemorate this special year, which marks the centennial of the establishment of the municipal system, and to be able to celebrate this milestone anniversary together with fellow citizens of Hachioji.

This commemorative publication was created with the cooperation of many people, and with the purpose of ensuring that the image of Hachioji on its 100th anniversary lives on in the memory of all its citizens and all those with whom it shares a bond, and of preserving this image for all of time. This publication traces the 100-year history of Hachioji, depicting a diversity of civic activities, the abundant attractiveness of the city, and the many smiling faces of its citizens.

I would like to express my heartfelt gratitude to all those who were involved in the creation of this publication. I hope that this publication can strengthen the bond that citizens feel towards Hachioji as their hometown, and further deepen their affection for this city.

Auf ein weiteres strahlendes Jahrhundert

Ich freue mich, dieses besondere Jahr des 100-jährigen Stadtjubiläums als Bürgermeister begrüßen und dieses denkwürdige Ereignis gemeinsam mit unseren Mitbürgerinnen und Mitbürger feiern zu können.

Diese Jubiläumsausgabe, an der viele von Ihnen mitgewirkt haben, soll über Zeit und Raum hinweg den Mitbürgerinnen und Mitbürgern, sowie allen, die sich unserer Stadt verbunden fühlen, das Andenken an das hundertjährige Jubiläum der Stadt Hachioji bewahren. In dieser Ausgabe präsentieren wir Ihnen gemeinsam mit engagierten Mitbürgerinnen und Mitbürgern einen Rückblick auf die letzten hundert Jahre und Beispiele für verschiedene Bürgeraktivitäten und die Attraktivität unserer Stadt.

Mein tiefer Dank gilt allen Beteiligten und ich hoffe, dass diese Jubiläumsausgabe dazu beiträgt, sich noch einmal auf Hachioji als Heimat zu besinnen und eine noch tiefere Verbundenheit zu empfinden.

영광의 100 년을 향하여

시제 제도 시행 백 주년이라는 특별한 해를 시점으로 맞이하게 되어, 이 뜻 깊은 순간을 시민 여러분과 함께 축하할 수 있게 된 것을 진심으로 기쁘게 생각합니다.

이 기념지는 백주년을 맞이한 하치오지시의 모습을 시민 여러분과 관계자 여러분들의 기억에 남기고, 시공을 넘어서 공유할 수 있도록, 많은 분의 도움을 받아 만들었습니다. 백 년의 발자취는 물론, 다양한 시민 활동, 다양한 거리의 매력을 시민들의 얼굴에 넘쳐나는 웃음과 함께 소개합니다.

등장해주신 여러분께 다시 한번 깊은 감사의 말씀을 드리며, 이 기념지로 인해 여러분이 고향인 하치오지를 재발견하는 기회가 되고, 한층 더 깊은 애착을 갖는데 일조할 수 있기를 바랍니다.

展望百年輝煌

能在八王子市實施市制一百週年之際，作為市長與各位市民一同歡慶這一盛會，我感到無比欣喜。

為使八王子市的百年風貌永存於市民及與八王子有緣的各位心中，跨越時空共同分享，我們在多方的鼎力相助下順利完成了這本紀念冊。其中，不僅回顧了我市這一百年來走過的歷史足跡、豐富多樣的市民活動、各個地區的無限魅力，以及市民們的歡樂笑容。

在此，我謹向為本紀念冊貢獻一份心力的各位再次致以由衷的感謝，並希望本紀念冊能加深各位對八王子市的認識和對故鄉的熱愛。

展望百年辉煌

能在八王子市实行市制一百周年之际，作为市长与广大市民一同欢庆这一盛典，我感到万分高兴。

为使八王子市的百年风貌永存于广大市民及与八王子有缘的各位心中，超越时空共同分享，我们在多方鼎力协助之下顺利完成了这本纪念册。其中，不仅回顾了我市这一百年来走过的历史足迹、丰富多彩的市民活动、各个街区的无尽魅力，以及市民们的欢乐笑容。

在此，我谨向为本纪念册尽力的各位再次致以衷心的感谢，并希望本纪念册能增进各位对八王子的认识，加深对故乡的热爱之情。

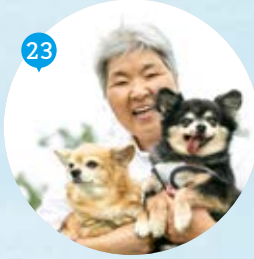
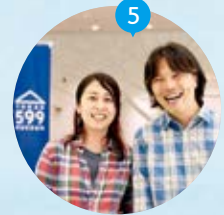


100th ANNIVERSARY

八王子には、多くの人が暮らし、学び、働くことで積み重ねてきた100年の歴史があります。「百年の彩りを 次の100年の輝きへ」まちの魅力を、未来につないでいきます。

CONTENTS

市長挨拶	01
大好き!! 八王子 ～未来をつくるまちの輝き～	02
市制100周年記念事業	04
八王子が誇る8つの魅力	08
若者から見た八王子の魅力	24
彩りの100年 八王子の軌跡	26
偉人の足跡	32
多様な顔をもつ八王子	34
八王子の未来	38
100周年スペシャルメッセージ ～未来へのかけ橋～	42
姉妹都市・海外友好交流都市 からのメッセージ	46
行政・議会	50
データで見る八王子	52
歳時記 ～八王子の四季～	56
八王子市歌・都市宣言	57



大 好 き 八 王 子 !!

— 未 来 を つ く る ま ち の 輝 き —

八王子が持つ多彩な魅力。この魅力は未来への輝きです。
市民の皆さんに「八王子のここが好き」を彩ってもらいました。

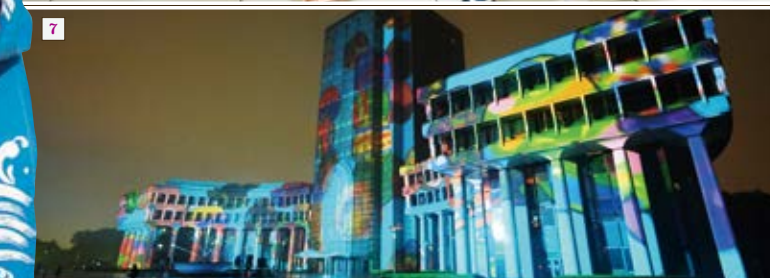
わ た し が 好 き な 八 王 子

1. ときどきわくわくしながら科学を学べるコニカミノルタ サイエンスドーム 2. 春、サクラを見ながらテニスができる富士森公園 3. カラフルな遊具で遊べる陵南公園 4. 浅川河川敷でするサッカー 5. 高尾599ミュージアムは高尾山登山の後にホッと一息できる癒しの空間 6. 中国から留学してきました。おいしいお店が多い 7. このまちに居れば、なんでも揃う 8. 自然が多いので、市内を走行していると季節の移り変わりがとても豊か 9. 駅ビルは色々なお店があってとても便利 10. 高尾山からの帰りに入る温泉 11. 子どもが育てやすい 12. 動物とふれあえ、水遊びもできる夕やけ小やけふれあいの里は僕らの遊び場 13. 自然豊かなだけでなく、歴史にもふれられる 14. 綺麗な川辺でのバーベキュー

15. 僕たちのお気に入りには八王子ラーメン 16. 駅の近くに色々な施設があって便利 17. たくさんのお店がある三井アウトレットパーク多摩南大沢 18. 地元の野菜 19. 四季折々、色々な草花が楽しめる片倉城跡公園 20. 宿泊もできる夕やけ小やけふれあいの里 21. 小さい子向けの遊具がたくさんある富士森公園 22. 八王子と言えば、やはり何と言っても高尾山 23. 愛犬とみどり豊かな場所でたくさん遊べる 24. 困った時に相談できる、イベントを通じてできたママ友 25. 多くの人が集まる楽しい駅前 26. 市場に来る地方の農家や業者さんとの交流 27. 八王子の歴史の奥深さが感じられる八王子城跡 28. 広々とした芝生と空を見ながら、散歩する片倉ついの森公園

市制100周年 記念事業

市制100周年をお祝いするため、さまざまな事業を行いました。まつりやスポーツ、市民の皆さんが実施するイベントに、たくさんの方が参加して盛り上がりました。



6. 体験学習フェスティバル八王子 2017: 71の体験プログラムで「遊び」と「学び」を同時に満喫できるイベント。家族連れなど、多くの方が楽しめました／**7. プロジェクションマッピング:** 大学との協働事業。夏夜を彩る光と音の演出で観覧客を魅了しました／**8. NHKのど自慢:** 予選を通過した20組の皆さんが自慢の歌声を披露。会場が一つになって盛り上がりました／**9-10. 八王子まつり:** 八王子の夏を彩る最大のイベント。市制100周年を祝い、山車19台が勢ぞろいする山車総覧が行われ、三日間で85万人の人でにぎわいました



1. 八王子大音楽祭 2017: 市民参加のオペラが開催されるなど、まちなかが音楽一色に包まれました／**2-3. 大相撲八王子場所:** 26年ぶりの開催に満員御礼。力士たちの気迫の取組に観客から歓声が沸きました／**4. IFSCクライミングワールドカップ・ボルダリング八王子 2017:** 2020年の東京オリンピックの正式競技となったスポーツクライミングの一種目、ボルダリングの世界大会。日本人選手が健闘しました／**5. フラワーフェスティバル由木:** ハングングバスケット展やコンテナガーデンコンテスト、市民の皆さんによるステージイベントなどが行われ、多くの方が訪れました

7-8. 八王子フォトロゲイニング滝山：チェックポイントを巡り、写真撮影をして得点を競うスポーツ。参加者はカメラ片手に自然や歴史といった地域の魅力にふれました／9-11. 全関東八王子夢街道駅伝競走大会：八王子100年応援団の中村美里さんと田代未来さんによる号砲を合図に多くのランナーが健脚を競いました／12-16. 市内で活動する23の市民団体が各種イベントを通じてまちの魅力を発信しました／17. ビジョンフォーラム：8つのテーマについて、未来への提言を行うフォーラム



1-2. 八王子いちよう祭り：黄金色に染まったいちよう並木のもと、12の関所を巡るオリエンテーリングや、クラシックカーパレードなどが行われ、市民手作りの祭りとして盛り上がりしました／3-4. 第34回全国都市緑化はちおうじフェア：市制100周年記念の中心的事業。「花とみどり溢れる文化的なライフスタイルの体験」をコンセプトに、さまざまな体験イベントを開催したほか、市内各所を季節の草花で彩りました／5. 元八王子北條氏照まつり：甲冑姿で高尾街道を練り歩く武者行列は多くの方でにぎわいました／6. 踊れ西八夏まつり：二日間にわたり、阿波おどりやYOSAKOI ソーラン、民謡流しを披露。会場は踊り手と観覧客で熱気に包まれました



ママたちが
「子育てが楽しい」
そう感じられる
ように

八王子ママの会 主催
山本 由佳理さん

！顔を合わせるからこそ深まる絆

会設立のきっかけは、産後大変な時にママ友が助けてくれた事。自分のようなママ同士が助け合えるよう、リアルな交流もできるFacebook上のコミュニティを作りました。現在は会運営のほか、ママフェスの開催や八王子ママ向けフリーペーパー「Kakka※」制作等の活動を行っています。

！社会の中でイキイキと輝くママへ

子どもがいても自分の社会的欲求を抑えず、ママがもっと主体的に存在しても良いのでは、そう感じたことも発足のきっかけ。会ではさまざまなママが主体的にやりたいことを発信してくれています。ママである時間を各々が自分らしく楽しめる場であり続けられたらいいなと願っています。

※「Kakka」は、市の施設などに設置されています。



◀病気を早期に発見するため、各種健康診査やがん検診などの検診を実施しています。

▼八王子市の医療を担う中核病院。
(左) 東京医科大学八王子医療センター
(右) 東海大学八王子病院



病気になるっても安心して医療が受けられるよう、初期医療を担うかかりつけ医や高度医療を担う中核病院、救急医療を担う救急病院が連携し、医療体制の充実に努めています。
24時間対応の小児診療体制を確保するほか、「小児・障害メディカルセンター」で夜間救急診療を実施するなど、救急医療体制を整えています。

POINT
2

医療体制の充実



▶保健福祉センターで行っている介護予防教室では、年間を通してさまざまな講座を開催しています。

▶市内を健康的に歩くヘルシーウォーキング。毎年多くの方が参加し、楽しみながら健康づくりに取り組んでいます。



市民の皆さんが生涯を通じ、いきいきとした生活が送れるよう、保健・衛生・医療・福祉と、総合的に支援しています。子育てしやすいまちナンバーワンをめざし、妊娠前から切れ目ない支援を行う「八王子版ネウボラ」の取り組みのほか、「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」を制定し、障害者の就労支援や活動の場の充実に努めています。また、高齢者への介護・医療・生活支援などのサービスを行う地域包括ケアシステムの推進により、だれもが笑顔で暮らせるよう取り組んでいます。

POINT
1

笑顔があふれる
やさしいまち

POINT
3

一人ひとりにあった
健康づくり

子どもからお年寄りまで、各世代にあわせた健康づくりを推進し、生涯を通じて健康な生活が送れる取り組みを進めています。また、在宅医療の体制を整えるなど、健康回復への支援にも取り組んでいます。

▶5月の第3日曜日に、毎年開催される健康フェスタ。健康づくり体操などのイベントが行われ、多くの市民の皆さんが参加しています。



▶市制100周年を機に健康フェスタと同時開催になった食育フェスタ。体験を通じ、食の大切さを学ぶことができます。



健康でいきいきとした暮らしづくりをサポートします！



～広めよう！！健康づくりの輪～
八王子市健康づくりサポーター

だれもが健やかで いきいきとした暮らし

充実した日々は健康な生活から。
まちには、いきいきと暮らすたくさんの笑顔が広がっています。





八王子市
レクリエーション協会 会長
塩澤 迪夫さん



NPO 法人
八王子市体育協会 会長
澤本 則男さん

！レクリエーションで健康と仲間づくり

レクリエーションの良いところは、バリアフリーであること。工夫次第では、老いも若きも、障害があっても、どんな人でも参加できるんですね。やり終えた時は、参加者みんなから自然と気持ちのいい拍手が生まれて、互いの仲が深まります。それがやっていて一番嬉しい瞬間です。

！スポーツ力を活かし元気なまちへ！

八王子は市域が広く、人口も多いですが、地域の結束力が強いまち。スポーツ愛好家が多く、互いに刺激しあうことで競技力アップにもつながっています。市民の運動環境を整えることで、コミュニティの醸成や青少年の健全な育成、健康増進など、市民の生活を向上していけたらと思います。



▶障害のある人もない人も協力しあいながら参加できる「ブラインドサッカー」。選手たちが声をかけあいながらプレーします。



▶八王子生まれの「ネオテニス」。バドミントンのラケットでスポンジボールを打ちあい、だれもが楽しむことができます。



▶平成28年に市内の高校として初の甲子園出場を果たした八王子学園八王子高等学校。



▶平成28年8月にモスクワで開催された「2016FIMワールドジュニアモトクロスチャンピオンシップ」に日本代表として出場した、中島淑也選手。

日本一をめざして、八王子で頑張ります！



東京八王子トレインズの皆さん



スポーツ・レクリエーションで磨かれる健康と輝く笑顔

大人から子どもまで、プロからアマチュアまで、スポーツ・レクリエーションを通して、たくさんの人が満たされた日々を送っています。

POINT 1

スポレクを楽しめる充実した環境

市民の皆さんが健康でいきいきと暮らせる生涯スポーツ社会の実現に向け、取り組んでいます。多摩地区最大級の「エスフォルタアリーナ八王子」をはじめ、「富士森体育館」や「上柚木公園陸上競技場」など、身近にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる施設が充実しています。全国レベルの競技から、気軽に参加できるイベントまで開催しています。多くの市民の皆さんがスポーツ・レクリエーションに親しむことで、まちには笑顔があふれています。

※スポレク：スポーツ・レクリエーションの略



▶豊かな自然環境を残した上柚木公園。陸上競技場をはじめとした屋外運動施設があり、スポーツに親しむことができる総合公園です。



▶緑豊かな富士森公園内にある、「ダイワハウスタジアム八王子」。ナイター設備や放送設備を有し、高校野球の予選も行われています。

POINT 2

スポレクとのふれあい

だれもがスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、さまざまなイベントを実施しています。公道で行う駅伝としては日本最多の参加チーム数を誇る「全関東八王子夢街道駅伝競走大会」や「八王子市民体育大会」、「八王子市民スポーツ・レクリエーション大会」など、市民の皆さんが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめます。障害のある人もない人も一緒にできるバリアフリースポーツの推進にも力を入れています。

POINT 3

若きアスリートたち

部活動の全国大会や都大会で毎年優秀な成績を収める若きアスリートも多く、スポーツに親しむ若者の活気があふれています。八王子を拠点に活動するプロバスケットボールチーム「東京八王子トレインズ」。プレーを通じて市民の皆さんの心を一つにするだけではなく、スポーツ振興やボランティア活動にも積極的にかわり、一緒にまちを盛り上げています。



次の100年に向けて、
学園都市だから
できること

大学コンソーシアム八王子 会長
東京工科大学 学長
いさお 軽部 征夫さん

！ 全国有数の学園都市ならではの取り組み

大学コンソーシアム八王子では地域社会の発展と高等教育の充実を図るため、産学公の連携・協働による諸事業を進めています。今後の活動では、例えば外国人留学生と日本人学生や市民との交流を図るなど、さらに国際的な学園都市を目指したいと思っています。

！ 八王子の未来を担う「知の集積」

単なるモノづくりだけでなく、知恵を集めて新しい知財を創り出すことがまちの発展のカギになります。学園都市八王子は、豊かなみどりや水に恵まれた、思考するために最適な環境。これらをいかして、新しいものをどんどん出す「考える都市」になればいいですね。



市内最大の蔵書数を誇る中央図書館。



▶平成27年に中央図書館の分室となった、中央図書館みなみ野分室。みなみ野地区での図書館利用がしやすくなりました。

▶意欲のある人はだれでも参加できる、「八王子学園都市大学いちょう塾」。大学それぞれの特色をいかした専門的でユニークな講座を受講できます。



みなさんの生涯学習活動をサポートします！



学習支援委員の皆さん

▼学習活動のきっかけづくりや、参加者同士が学びを通じて交流することを目的に、「生涯学習フェスティバル」を開催。



市民の皆さんが自分らしく学び続け、生きがいのある生活を生涯にわたって送ることができるように、協働した生涯学習施策を推進しています。「市民・地域ともに高めあう学びのまち」をめざして、これからも学習機会を提供していきます。

POINT 2

子どもから大人まで
参加できる学びの場

生涯学習情報や学習機会の提供、そして市民の交流や発表の場として、3つの生涯学習センター（クリエイトホール・南大沢・川口）で、だれもが多様な文化とふれあい、学ぶことができます。

また、4つの図書館（中央・生涯学習センター・南大沢・川口）と2つの分室（北野・みなみ野）は、読書推進計画「読書のまち八王子」を支える重要な拠点となっています。蔵書数は163万冊を超え、子どもから大人まで、多くの人に利用されています。

POINT 3

生涯学習社会の推進



▶多摩地区最大級の科学イベント「わくわくサイエンス祭科学教室」。実験や製作を通して、大学生が子どもたちに科学の楽しさを伝えています。

▶市内の大学生や青年たちによる「青年ライブステージ」での活気あふれる音楽パフォーマンス。



市内に21の大学等が立地し、約10万人の学生が学ぶ、全国でも有数の学園都市です。「大学コンソーシアム八王子」の設立や、大学との包括連携協定の締結により、大学等との連携を積極的に推進することで、学生たちの活力をまちづくりに活かしています。

いつでも学べる駅前の学び舎「八王子学園都市大学いちょう塾」を開学し、市民の皆さんの多様な学習ニーズや幅広い世代に大学等の特色を活かした専門的な学習機会を提供しています。

POINT 1

全国有数の学園都市

豊かな学びが創り出す 人と人との繋がり

いつでもどこでも学ぶことができる環境のなかで、一人ひとりが生きがいを持って暮らしています。



多様な自然が
八王子の魅力
高尾山でも
ぜひ体験して



東京都 高尾ビジターセンター
村上 友和さん

！ 私たちは高尾山を守るなんでも屋

ビジターセンターでは、自然や生き物を主とする施設の運営や、イベント等の開催を行っています。毎日必ず山の状況を把握するのはもちろん、時には傷の手当てをしたり、AEDを担いで走ることも。安全を守るためのあらゆることを行い、利用者に満足していただくために努めています。

！ 豊富な自然を体感してほしい

高尾山はイギリス全土と同じくらいの種類の植物があると言われるほど多様性に富んだ山。その豊富な自然が、駅から徒歩5分くらいのところにあるんです。これって、とてもすごいことですね。私たちが感じた「あっ！」という発見を、利用者の皆さんにもぜひ体感していただきたいです。



！みどり豊かな殿入中央公園には菖蒲田があり、花期には間近で白や紫のハナショウブを観賞することができます。



！陸上競技場やフットサル・テニスコートなど、スポーツ施設が充実している富士森公園はサクラの名所でもあります。

POINT 2
みどりあふれる公園が充実

みどり豊かな公園がたくさんあります。美しい風景が広がる公園は、市民の憩いの場として、そして交流の場として日々の生活に潤いを与えてくれます。

「全国都市緑化はちおうじフェア」のメイン会場の「富士森公園」のほか、武蔵陵の南にある「都立陵南公園」、多摩川と秋川の合流点の南側に広がる「都立滝山公園」はサクラの名所で、桜祭りをはじめさまざまなイベントが開かれています。

POINT 3
豊かな自然環境を支える人々

私たちの生活に安らぎと潤いを与えてくれる豊かなみどりや、水辺の環境は、長年、人の手によって守られてきました。

受け継がれてきた思いを守り、人と自然を結ぶために活動する人々がこのまちにはたくさんいます。



！八王子市とあきる野市の市境に位置する里山、上川の里を守るため、地域住民による「上川の里づくり運営委員会」と市が協働して環境整備を行っています。



豊かなみどりで みんなが癒されるまち

たくさんの山や川がある八王子。
まちを包み込む豊かな自然が生活を癒してくれます。



POINT 1
四季折々の
身近な自然

自然とふれあえる場所が身近にあります。年間300万人を超える登山客が訪れる高尾山をはじめ、自然の中で川遊びやバーベキュー、さまざまな体験ができる「夕やけ小やけふれあいの里」は、多くの市民の皆さんに親しまれています。

豊かな生態系を育む浅川をはじめとする18の一級河川が市内各所を流れ、四季折々の風景や自然の恵みを堪能できます。



！浅川沿いの桜並木では毎年たくさんの花見客が、川のせせらぎとともに美しい景観を楽しんでいます。



！上恩方町にある夕やけ小やけふれあいの里は、童謡「夕焼小焼」の発祥の地。広大な敷地の中で、自然体験や体験講座ができます。



新しいものと
古いものが
一つになって
活気あるまちに

八王子商工会議所 会頭
田辺 隆一郎さん

！ 官民協働で取り組むまちづくり

まちを元気にするために、商工会議所では中心市街地活性化の構想を行政に提案しています。また、観光だけでなく学術会議、展示会などビジネス・交流機能を盛んにするMICE都市をめざして、八王子観光コンベンション協会もスタート。まちづくりにとって官民協働の重要性を実感しています。

！ 歴史と文化の集積を活かして

八王子は歴史と文化が豊かですが、古いものを積極的に活かしてこなかったところもあります。例えば産業都市として栄えた土壌があるのですから、それを活かして現代の「ものづくり」産業をのびのびと育てていきたいですね。また、花と緑にあふれた「散歩して楽しいまち」づくりも進行中です！



中央自動車道の八王子インターチェンジ。国道16号や国道411号と連絡しており、各地への移動が可能となっています。



圏央道高尾山インターチェンジによって、高尾山の近くで国道20号へ接続することができるようになりました。

江戸東京野菜に登録された八王子しょうがの収穫風景。辛味が少なく、みずみずしい味わいが特徴。



JA八王子が毎年開催する「JA八王子農業祭」。八王子産の野菜を用いた、宝船が展示されます。

パッションフルーツを八王子の名産品へ！頑張ります。



JA八王子パッションフルーツ生産組合の皆さん



現在に受け継がれる ものづくりの精神

交通の結節点としての利便性がものづくりを盛んにします。

POINT
2

「ヒト」「モノ」が
行き来する交通網

幕末期より、関東各地から絹が集積し、横浜へ運ぶための交通の要衝であった八王子。現在は、国道20号と16号が交わり、中央道の八王子インターチェンジに加え、圏央道の高尾山・八王子西の2つのインターチェンジの開通により、首都圏西部における交通の結節点としての利便性が飛躍的に向上しています。

鉄道も中央線・横浜線・八高線・京王線・多摩都市モノレールの21駅があり、交通網が整備されています。



国の伝統的工芸品に指定されている多摩織。

▼F1やル・マン24時間レースなど、世界最高峰レース用マシンの試作開発車。



POINT
1

高品質な
ものづくり

織物産業が育んできたものづくりは、先端技術産業として、受け継がれています。日本を代表する大企業の開発拠点、製品開発型の中小企業と、現在1500の製造業者があり、日本のものづくりを支えています。

市では八王子商工会議所と連携し、産学連携の推進や海外経済交流の促進、企業の誘致、創業支援など、さまざまな取り組みを展開し、さらなる産業の活性化を推進しています。





八王子市学園都市
文化ふれあい財団理事長
三浦 眞一さん



八王子文化連盟
理事長
白澤 宏規さん

！ 次の100年に咲く
文化芸術の種をまく

当財団では、市民の方々に
向けて文化芸術に接する機
会を提供するとともに、参
加者と一緒により上げるイ
ベントも数多く行なってい
ます。文化活動を通じて市
民の皆様がさまざまなふれ
あいを重ねることで、八王
子の豊かな文化的土壌に種
をまくことができると思
っております。

！ さらなる情報発信で
芸術のまちへ

「八王子市文化芸術ビジョ
ン」「八王子市文化芸術振興
条例」が制定され、文化芸
術に対する市民の理解はま
ずますます深まっていくこ
とでしょう。市民の文化振興
に対する行政の支援も重要で
すし、文化芸術面での活発
な情報発信や市内大学生な
ど若い力の起用を図ること
も大事だと考えています。



▼美術館では年間を通
して開催する常設展の
ほか、年6回程度の特別
展（企画展示）を開催
しています。



▼オリンパスホール八
王子。2,021人収容で
きるホールやリハーサ
ル室など最新の舞台設
備を備えています。



▼「八王子国際交流フェ
スティバル」のようすです。地
域の外国人との交流を行い、
互いの習慣や、多文化に対
する理解を深めました。



▼八王子の豊かな伝
統文化「八王子車人
形」を気軽にみて、
きいて、ふれあうこ
とができるふれあい事
業を行っています。



▼市民文化の向上や
発展を目的に開催さ
れる「八王子市民文
化祭」は、美術・文化・
音楽など多彩なイベ
ントやステージが行
われます。

多摩地域最大級の2021人の収
容数を誇る「オリンパスホール八王
子」。多様な分野に対応した音響設備
による優れた鑑賞環境で、舞台と客席
との一体感を味わえる、コンサートや
舞踏・演劇などの芸術文化を鑑賞する
ことができます。
だれもが気軽に親しめる「くらしの
中の美術館」がコンセプトの美術館
は、多彩な企画展を実施しています。
コンサートや演劇が楽しめる、い
ちようホールや南大沢文化会館があ
り、豊かな感性を育むことができる文
化施設が充実しています。

POINT
2

充実した文化施設

POINT
3

豊かな文化の醸成

私たちに喜びや感動を与えてくれる
芸術文化は日々の暮らしを豊かにして
くれます。そして、多彩な創造、豊か
な文化の醸成は、まちの魅力にもつな
がります。
市は、市民が主役となる芸術文化活
動を推進し、文化イベントの開催や創
作活動場の提供など、創作活動を支
えています。

豊かな感性を育む 薫り高い文化

伝統や、多彩な創造。そして、文化施設の数々。
八王子市には、たくさんの芸術文化があふれています。



▲まち全体を舞台に開催される「伝承のたまてばこ」では、祭囃子
（まつりばやし）や八王子芸妓衆（げいぎしゅう）など、八王子周
辺に伝わる伝統文化の魅力にふれることができます。

市内には多くの美術館やホールが
あり、芸術文化に関わるたくさんの
イベントが開催されています。体験
講座や公演、まちなかでのイベン
トが開催されるなど、気軽に親しむこ
とができ、身近なところで本物の伝
統文化にふれる機会がたくさんあり
ます。
また、市内には、芸術や美術など
を学ぶ特色ある大学が多く、イベン
トで、学生たちの豊かな想像力によ
って生み出された力強い作品を見るこ
とができます。

POINT
1

芸術文化を身近に



八王子愛の心で 自分たちの 地域を 災害から守る

八王子市消防団 団長
井上 潔さん

！ 地域を知る強みを活かして活動

現在、12個分団、1,406名※の団員で構成される八王子市消防団は、日頃は各種訓練や情報収集、防災の啓蒙活動を行い、いざ火災や台風などの災害が地域に起これば、現場の最前線で活動します。地域に精通している消防団員が、万が一の時に真っ先に頼りになる存在になればと思っています。

！ 自分たちのまちは自分たちで守る

私はここ八王子に生まれ育ち、四季折々に美しい風景に親しんできました。「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛の精神で、今後も地域と連携しながら活動していきたいと思います。若者や子どもたちに積極的にPRをして、今後も共に活動する仲間を増やしていきたいですね。

※（平成29年8月1日現在）



◀消防団では、救助訓練をはじめとした実践的な訓練を行い、技術の向上を図っています。



◀消防団出初式では、分列行進や一斉放水、消防記念会によるはしご乗りの演技が披露されます。

▶防災対応型の総合防災訓練では、消防団による一斉放水訓練や救助活動訓練が行われます。



「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、日夜地域の安全を支えている「消防団」。日頃から訓練に励み、火災や風水害の発生時には、いち早く現場に駆けつけるなど、消防団はまさに「地域防災の要」です。

地元有志の皆さんで構成される消防団は、都内最大規模を誇ります。団員たちはそれぞれに仕事や学業を持ちながら、市民の皆さんの生命や身体、財産を守るため、地域防災の担い手として活動を行っています。

POINT
2

都内最大規模を誇る 八王子市消防団

POINT
3

安全安心な まちづくり

いつ発生するか分からない災害や身の回りで起こるさまざまな犯罪から、市民生活が損なわれることがないように、さまざまな取り組みが行われています。

町会や自治会では、自主防災活動を行っているほか、犯罪を未然に防ぐために、地域のパトロールなどの自主防犯活動を実施しています。

緊急輸送道路沿いの建物の耐震化や市施設の防災拠点の機能を強化しています。さらに食料や資機材を確保するなど、市民の皆さんの生命や財産を守る、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



▶まちの景観を損ねる壁の落書きなどを、地域ぐるみで消去する美化活動を行っています。

まちの安全を、
私たちの手で守ります！

長沼町会の皆さん

みんなが安心して 快適に暮らせるまち

市民の皆さんが安心して快適に暮らすため、
さまざまな取り組みを行っています。



▶再開発が行われた八王子駅南口。デッキにエレベーターが設置され、だれもがアクセスしやすいつくりになっています。



▶コニカミノルタサイエンスドームと、大横保健福祉センターの間にある道。段差を無くし、だれもが利用しやすいつくりになっています。

POINT
1

ユニバーサル デザインのまち

だれもが安全・快適に公共施設が利用できるように、ユニバーサルデザインを意識したまちづくりを進めています。市街地の緑化とあわせ、民間施設や周辺の歩行空間を整備し、心地よい空間を創出しています。

電線の地中化や、段差の解消、サイン表示をよりわかりやすいように改良するなど、「だれもが暮らしやすいまち」をめざして取り組んでいます。





八王子まつり実行委員会
下地区行事部長
齊藤 哲寛さん



八王子まつり実行委員会
上地区行事部長
竹内 好夫さん

！まつりで受け継ぐ
八王子愛の心

行事部会長の仕事は、安全を守ること。おまつりを無事に開催して楽しんでもらうため、事前の準備は重要です。また、各行事に携わる中で、先人達の努力や心意気にふれ、それが脈々と受け継がれていることを感じました。時代は変われど、まつりへの「想い」は次の世代に伝えていきたいです。

！目標は来場 100 万人
関東屈指のまつりへ

八王子まつりは、甲州街道を借り切って行う大規模なまつり。安全に山車を動かすためには欠かせない役割がいくつもあり、みんなで力をあわせることでまつりを動かしています。今後は今以上に盛大になって、他市の人にも、まつりを通じてまちの良さを知っていただきたいですね。



▲ろくろ車と呼ばれる箱車に腰掛け、一人で一体の人形を操る車人形。力強い動きで、人形がいきいきと動き回ります。

▼西川古柳座の五代目家元である西川古柳さん。伝統ある八王子車人形を継承し、後世に伝えとともに海外公演も多く行っています。



▶多摩織の技法を用いて作ったネクタイ。歴史に裏打ちされた技術のもとに、新素材や新たな製品が展開されています。

▼多摩織には5つの品種があり、いずれもシワになりにくく、軽くて実用的であるのが特徴。



四百年余の歴史を持つ「八王子織物」。中でも「多摩織」は、国の伝統的工芸品の指定を受けています。また、こうした織物をはじめ、まちの歴史や文化を次代へつなぐため、市史編さん事業にも取り組みました。

八王子の歴史を、正しく後世に伝えていきます！



八王子市市史編さん審議会の皆さん

まちに脈々と息づく 歴史と伝統

世代を超えて継承された歴史と伝統は
未来へと受け継がれていきます。



POINT
1

市民の心をつなぐ まつり

八王子では、一年を通してさまざまなまつりが行われます。活力を生み出すのは本市が誇る市民力や地域力。また、まつりで出会えるのは、八王子に息づく、郷土芸能の数々。獅子舞や木遣など、先人たちが生活の中で編み出し継承してきた民俗文化を、今なお各地のまつりで目にすることが出来ます。過去から現在へ、刻まれてきた歴史の中心には、郷土の誇りを胸に躍動する「はちおうじっ子」の姿があります。



▲狭間町で行われる獅子舞は、天正18年(1590)に八王子城主であった北条氏照から獅子を拝領したことから始まりました。



▲木遣歌は、大勢で仕事をする際の掛け声から始まった作業歌です。現在は消防団出初式や高尾山の春季大祭で唄われています。

▲四谷町で行われる龍頭の舞は、約400年前に雨乞いを祈願したことから始まりました。



八王子の魅力

八王子で暮らし、学ぶ、次代を担う若者たち。
それぞれの世代の皆さんに八王子の魅力について聞きました。



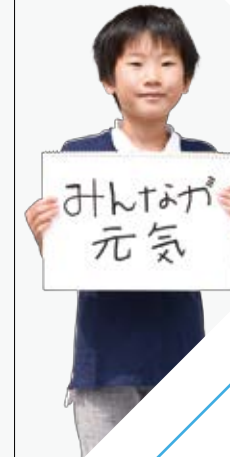
大学生
にとっての魅力



高校生
にとっての魅力



中学生
にとっての魅力



小学生
にとっての魅力



八王子の軌跡

市制施行から100年。さまざまな歴史を刻んできました。先人たちが郷土の発展を願い築いてきたまちの歴史を振り返ります。

1917年～1957年 大正6年～昭和32年

八王子の草創期

東京市（現在の特別区）に次いで誕生した八王子市。
鉄道や学校をはじめ、まちの整備が進み、大きく発展する基盤がつけられました。



1

大正元年(1912):八王子町の大字名と区域を変更(19町から29町に)

大正8年(1919):八王子織物の景気が最盛期を迎える

大正6年
(1917)

市制施行、
八王子市の誕生
人口4万2千人

1

大正12年(1923):中村雨紅が「夕焼小焼」を発表

大正14年(1925):玉南電気鉄道(京王線)の東八王子-府中間が開通

昭和2年
(1927)

市制10周年

昭和2年(1927):高尾登山鉄道がケーブルカーの営業運転を開始

大正9年(1920):府立第二商業学校(現・都立八王子拓真高校)が開校

昭和3年(1928):上水道の給水を開始

昭和4年(1929):武蔵中央電気軌道(市電)の浅川駅前-追分町間が開通

昭和5年(1930):市庁舎が天神町の第四尋常小旧校舎へ移転

昭和6年(1931):京王電気軌道・御陵線が開通

昭和9年(1934):八高線が全線開通

昭和12年
(1937)

市制20周年

昭和11年(1936):市制20周年を記念して市歌(北原白秋作詞・山田耕筈作曲)を制定

昭和14年(1939):中央本線の八王子-浅川間が電化・複線化され西八王子駅が開設

昭和16年(1941):小宮町と合併

昭和20年(1945):8月2日未明の八王子空襲で市街地の約8割が焼失

昭和22年
(1947)

市制30周年

昭和25年(1950):初の市立保育園(子安)を開設

昭和26年(1951):三多摩で初めて小学校の完全給食を実施
市庁舎が本町に完成・移転
八王子市広報を創刊



4

昭和32年
(1957)

市制40周年

昭和27年(1952):市立第五中学校に夜間学級を開設
初の市営住宅である高倉町住宅が完成・入居開始

昭和28年(1953):市立第三中学校と市立第二小学校に心身障害学級を開設

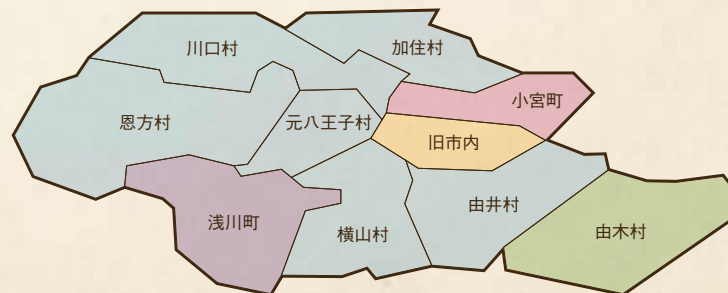
昭和29年(1954):市立図書館を上野町に開館
市立老人ホームを大和田町に開設(平成15年まで)

昭和30年(1955):横山・元八王子・恩方・川口・加住・由井の6か村と合併
人口が10万人を超える



3

市域変遷の時期	市域変遷の経緯
大正6年(1917)9月1日	市制施行。総人口42,043人、世帯数7,126世帯、総面積7.3km ²
昭和16年(1941)10月1日	小宮町を編入。総人口79,768人、総面積19.88km ²
昭和30年(1955)4月1日	横山村、元八王子村、恩方村、川口村、加住村、由井村を編入。総人口132,796人、総面積139.60km ²
昭和34年(1959)4月1日	浅川町を編入。総人口152,226人、総面積166.06km ²
昭和39年(1964)8月1日	由木村を編入。総人口193,346人、総面積188.19km ²
平成27年(2015)3月6日	面積改定(国土地理院による精査の結果)により総面積186.38km ²



まちの変遷
100年前に八王子市が誕生したとき、面積は7.3km²、人口は4万2千人でした。その後、町村合併を経て、今のまちになりました。

1958年～1988年

昭和33年～昭和63年

八王子の伸展期

高度経済成長期を迎え、産業の成長や人口の増加、市街地の拡大など、めざましい発展を遂げていきました。

昭和62年
(1987)

市制70周年

昭和60年(1985):多摩地区最大規模となる「中央図書館」を千人町三丁目に開館 10
国道16号バイパスが開通

昭和62年(1987):人権モデル都市に指定される



昭和55年(1980):心身障害者福祉センターを台町二丁目に開設

昭和58年(1983):元本郷町三丁目に現在の市庁舎が完成・移転 9
八王子駅ビルが完成
人口が40万人を超える

昭和59年(1984):防災行政無線の運用を開始



昭和50年(1975):多摩ニュータウンの八王子市域分で建設が開始 8
市立看護学院を本町に開校

昭和51年(1976):市制60周年を記念して市の木「イチョウ」と市の花「ヤマユリ」を制定

昭和54年(1979):「保健センター」を平岡町に開設



昭和44年(1969):北野下水処理場の運転を開始 5

昭和46年(1971):全国に先駆けて、ノーカーデーを実施
流域下水道の南多摩下水処理場(現・水再生センター)を開設

昭和47年(1972):甲州街道で歩行者天国を実施 6

昭和52年
(1977)

市制60周年

昭和48年(1973):北海道苫小牧市と姉妹都市の盟約を結ぶ

昭和49年(1974):栃木県日光市と姉妹都市の盟約を結ぶ 7
都内最大規模の市民体育館(現・富士森体育館)を開館
人口が30万人を超える



昭和42年
(1967)

市制50周年

昭和42年(1967):「郷土資料館」を上野町に開館 4
明治百年記念として、「明治の森・高尾国定公園」が指定される
京王高尾線の北野-高尾山口間が開通
中央自動車道の八王子-調布間が開通



昭和39年(1964):八王子が東京オリンピックの自転車競技会場となる 3
世界で初めて「親切都市宣言」をする
由木村と合併

昭和34年(1959):浅川町と合併し尿処理場を北野町に開設

昭和36年(1961):市立高尾自然科学博物館を開館 1
第1回市民祭(3万人の夕涼み)を富士森陸上競技場で開催 2

昭和38年(1963):工学院大学が中野町に移転・開校(大学の八王子への移転が始まる)

八王子駅の変遷

時代とともにさまざまな姿を見せる八王子駅。その変遷を紹介します。



大正10年頃



昭和38年



昭和20年代後半



昭和56年



平成10年



平成5年



現在

1989年～2017年

平成元年～平成29年

八王子の拡充期

次の100年に向けさらなる発展をめざします。



1

平成5年(1993):看護専門学校を館町に開校
「甲の原体育館」を中野町に開館

平成6年(1994):芸術文化会館「いちようホール」を本町に開館

平成7年(1995):多摩地域で初めて市消防団に女性団員が入団

平成8年(1996):南大沢総合センターが完成
「タやけ小やけ文化農園」(現・タやけ小やけふれあいの里)を上恩方町に開園 1

平成元年(1989):多摩地区初の「子ども科学館」を大横町に開館

平成2年(1990):「網の道資料館」を鎌水に開館

平成3年(1991):市制75周年を記念して市の鳥「オオルリ」を制定
総合福祉センターを東浅川町に開設

平成4年(1992):流域下水道の浅川処理場と八王子処理場(現・水再生センター)を開設

平成9年(1997)

市制80周年



2

平成9年(1997):「学園都市センター」を八王子スクエアビル内(旭町)に開設
横浜線に八王子みなみ野駅が開設
北野余熱利用センター「あったかホール」を北野町に開館
上柚木公園陸上競技場を上柚木二丁目に開設
人口が50万人を超える

平成11年(1999):生涯学習センター「クリエイトホール」を東町に開設

平成13年(2001):「戸吹湯ったり館」を開館
浅川の鶴巻橋上流でステゴドンゾウの化石が発見される

平成15年(2003):「市民活動支援センター」を旭町に開設
「夢美術館」を八日町に開館
「男女共同参画センター」をクリエイトホール内に開設

平成16年(2004):不登校児童・生徒のための小・中一貫校「高尾山学園」を館町に開校 2
ごみの指定収集袋制度・戸別収集・資源物回収の拡充をスタート



3

平成17年(2005):「先端技術開発・交流センター」を旭町に開設

平成18年(2006):中国・泰安市、台湾・高雄市、韓国・始興市と海外友好交流協定を結ぶ

平成19年(2007):保健所政令市に移行
都内初の道の駅「八王子滝山」を開設 3
圏央道八王子ICが中央道方面のハーフインターとして開通

平成20年(2008):京王線沿線7市(八王子・府中・調布・町田・日野・多摩・稲城)の図書館相互利用を開始

平成19年(2007)

市制90周年

平成21年(2009):「大学コンソーシアム八王子」を設立

平成22年(2010):「八王子駅南口総合事務所」を開設

平成23年(2011):「戸吹スポーツ公園」を開園
新市民会館「オリンパスホール八王子」を子安町に開館



5

平成24年(2012):市内初の日本庭園「高尾駒木野庭園」を開園 4
圏央道の高尾山IC-八王子JCTが開通

平成25年(2013):「スポーツ祭東京2013・東京多摩国体」が開催され、都内最多の6競技を市内で実施

平成26年(2014):総合体育館「エスフォルタアリーナ八王子」を狭間町に開館

平成27年(2015):都内初の中核市に移行 5
「高尾599ミュージアム」を開館 6



4

平成29年(2017)

市制100周年
人口58万人

平成28年(2016):神奈川県小田原市・埼玉県寄居町と姉妹都市盟約を結ぶ 7
圏央道八王子西ICがフルインター化

平成29年(2017):「八王子観光コンベンション協会」を設立
ドイツ・ヴリーツェン市と海外友好交流協定を結ぶ
「コニカミノルタサイエンスドーム(子ども科学館)」をリニューアルオープン



6



7

市長	首相	平均寿命		公務員の初任給	銭湯	新聞購読料	お米 10kg		卵 10個	市の人口	
柴田榮吉	寺内正毅	女性 43.20歳	男性 42.06歳	70円	4銭	1円20銭	1円20銭		51銭	42,043人	100年前 (大正6年)
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		↓	↓	↓
石森孝志	安倍晋三	女性 87.14歳	男性 80.98歳	182,700円	460円	4,037円	4,520円		202円	563,228人	現在 (平成29年)

八王子の昔と今
100年前(大正6年)と現在(平成29年)を比べてみました。

八王子に深いゆかりがあり、
さまざまな分野で活躍した偉人たちの足跡を紹介します。

偉人
の
足跡



横川 様子

教育者（1853-1926）

Yokokawa Umeko

多摩地域で女子教育に尽力した教師

武州多摩郡横川村（現・横川町）に生まれました。教育者で女学校創立者。東京女子師範学校（現・お茶の水女子大学）で学び、同附属幼稚園に勤務していました。父の死により帰郷しました。そこで、女子教育の遅れを痛感し、「女子教育の向上と充実」を理念に女子のための教育機関設立をめざしました。

明治25年（1892）に八王子女学校と八王子幼稚園を設立し、女子教育の先駆けとなり、多くの優秀な人材を世に送り出しました。

明治41年（1908）、府立第四高等女学校（現・都立南多摩中等教育学校）設置に貢献しました。



西川 正治

名誉市民、物理学者（1884-1952）

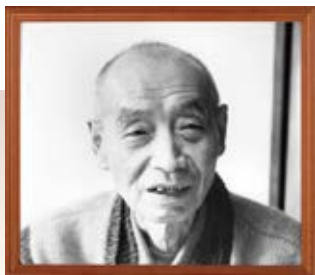
Nishikawa Shoji

* 名誉市民は昭和26年度に制度を創設しました。八王子にゆかりがあり、広く社会文化の進展に貢献し、その実績が卓越している方に対して贈るものです。

X線の研究で名高い物理学者

八幡町出身の物理学者で日本結晶学会初代会長。明治43年（1910）、東京帝国大学理科大学実験物理学科を卒業した後、結晶構造の解析にX線回折像を応用する研究に取り組み、世界で初めて天然繊維を使って繊維構造物質のX線回折の実験を行いました。

スピネル（尖晶石）の結晶構造の決定は、国内外の結晶学に大きな影響を与えました。大正6年（1917）学士院賞、昭和26年（1951）文化勲章を受章。同年、市は初の八王子市名誉市民（*）の称号を贈りました。



瀧井 孝作

名誉市民、俳人・小説家（1894-1984）

Takii Kosaku

文学界の発展に貢献した小説家

岐阜県高山市出身の俳人で小説家。文芸記者として知りあった芥川龍之介や志賀直哉たちと親交を深め、のちに自身も執筆活動を開始。昭和5年（1930）、妻・リンの故郷である八王子市子安町へ移り、その後生涯を八王子で送りました。「浅川駅よりトンネルもなくなり空は夜明であった」の書き出しで始まる「無限抱擁」。作品の中には、市民になじみの深い八王子の風景がたくさんおりこまれています。また、芥川賞創設以来の選考委員として純文学の道をめざす新人作家を見つけ出し、世に送り続けました。昭和34年（1959）日本芸術院会員となる。昭和49年（1974）に文化功労者、翌年に勲二等瑞宝章を受章。同年、市は八王子市名誉市民（*）の称号を贈りました。



中村 雨紅

童謡作家（1897-1972）

Nakamura Ukou

「夕焼小焼」の風景を描いた童謡作家

明治30年（1897）、南多摩郡恩方村（現・八王子市上恩方町）にある宮尾神社の宮司の次男として生まれました。教師生活のかたわら童謡・童謡づくりを始めました。「シャボン玉」等で知られる野口雨情に師事して雨情の「雨」の字をもらい、雨紅と称しました。

大正8年（1919）、故郷である恩方の風景を歌った『夕焼小焼』を作詞。八王子駅から恩方の実家へ向かう長い道のり―その途中で見えてくる陣馬の山間を照らす夕日の情景がこの歌に描かれています。名歌としてまたたく間に世に広まり、今も人々に歌い継がれています。



高尾駅から陣馬高原下
行きのバスに乗り、「夕
焼小焼」の停留所で降
りると、宮尾神社があ
ります。境内には有名
な童謡「夕焼小焼」の碑
が立っています。



肥沼 信次

ドイツ・ヴリーツェン名誉市民、医者・
放射線医学者（1908-1946）

Koenuma Nobutsugu

しかし、自身もチフスを患い、37歳で死去。ヴリーツェン市は彼の功績をたたえ、平成6年（1994）に同市名誉市民の称号を贈りました。功績をたたえる「記念銘板」がヴリーツェン市庁舎の正面玄関に飾られています。



ドイツで医療に身を捧げた医師

外科医・肥沼梅三郎の次男として八王子に生まれました。アインシュタインに憧れてドイツに渡ります。ベルリン大学（現・フンボルト大学）へ留学、放射線研究室で世界最先端の放射線技術を学びました。第二次世界大戦後は、ポーランド国境近くにあるヴリーツェン市の伝染病医療センターの責任者に就任しチフス・コレラなどの対策に尽力し献身的な治療により、多くの命を救いました。



* 市民栄誉章は平成6年度に制度を創設しました。八王子にゆかりがあり、スポーツや文化などの分野において国際的に活躍された方に対して贈るものです。

世界を圧倒した五輪メダリスト



中村 美里

市民栄誉章受賞者、柔道選手（1989-）

Nakamura Misato

八王子市東浅川町に生まれました。小学校3年生の時から柔道を始めました。階級は52kg級で得意技は小外刈。北京・リオデジャネイロでのオリンピック2大会で銅メダルを獲得するだけでなく、世界柔道選手権では3回、グランドスラムでは6回優勝しました。

怪我や長期療養で辛い時期を経験しながらも、強靱な精神力と技で見事な返り咲きを果たした姿は多くの柔道ファンの記憶に留まりました。平成28年（2016）に市は八王子市民栄誉章（*）を贈りました。同章創設以来の初の受章者です。



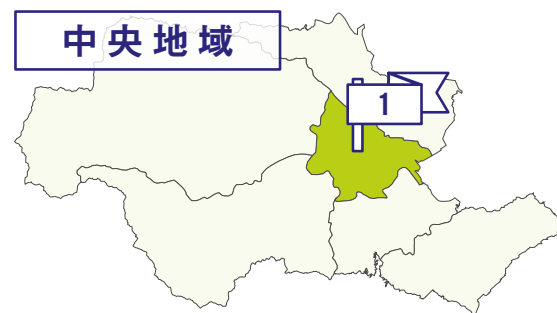
▲八王子駅／1日約85,000人が利用する八王子の玄関口。北口駅前には、大型商業施設や商店が並ぶほか、南口は自由通路で商業・公共・文化施設に直結しています。



▲富士森公園／市の中心に位置し、運動施設と豊かなみどりが融合した公園。「全国都市緑化はちおうじフェア」のメイン会場として、花とみどりが溢れる文化的なライフスタイルを提案しています。

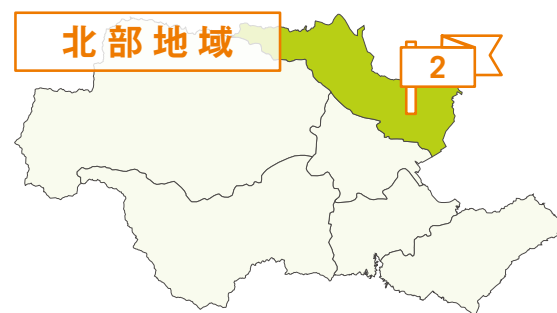


▲浅川／八王子の中央部を流れ鮎が遡上する、母なる川と称される「浅川」。沿岸や河川敷では、サイクリング・散歩や各種イベントなど、水辺やみどりの景色を楽しむ人々の憩いの場として、にぎわっています。



にぎわいの中心と 周辺のみどり

商業や産業が集積する八王子駅周辺は、にぎわいの中心です。周辺に広がるみどりと調和し、美しいまちなみが広がっています。



田園風景と歴史が ふれあう観光拠点

水の恵みが育む田園風景や滝山城跡など、新たな観光拠点にふさわしい、自然や歴史資源が豊富です。



▲田園風景（高月）／都内最大級の田園風景が見られる都内随一の米どころ。季節ごとに異なった風景を楽しませてくれます。八王子産のブランド米「高月清流米」はこの地域で生産されています。



▲都立滝山公園・滝山城跡／国史跡に指定されている滝山城跡は全国でも有数の中世城郭跡と言われ、「続日本100名城」に選定されています。都内有数のサクラの名所になっています。



▲道の駅八王子滝山／都内初の「道の駅」として平成19年にオープン。「全国都市緑化はちおうじフェア（北エリア）」のサテライト会場。地元農家の新鮮な農作物が販売されるなど、にぎわいの拠点になっています。

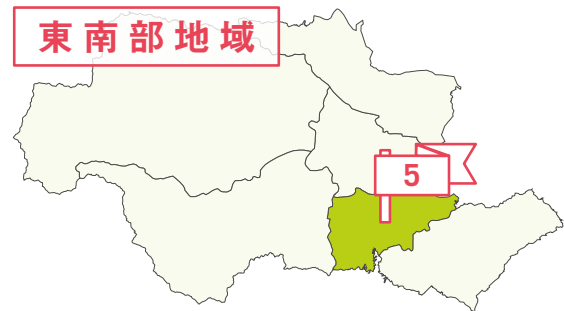


多様な顔をもつ八王子

広大な市域を持つ八王子。さまざまな顔を見せてくれます。にぎわいのあるまちなみ、交通の要衝、四季の彩りに満ちた豊かな自然風景、6つの地域から紹介します。



東南部地域



住宅地に身近な憩いのみどり

丘陵地に立ち並ぶ住宅地の周辺には、豊かなみどりや農地が広がり、身近に自然を感じることができます。



▲東南部地域の風景（由井・みなみ野地区）／東京環状など主要な幹線道路とJR横浜線や京王高尾線が走る地域。みどりと住環境が共存し、湯殿川や兵衛川の沿岸には農地も広がるなど、四季折々の風景を楽しむことができます。



▲片倉つどの森公園／みなみ野地区内にある、みどりに囲まれた公園。各種防災設備を備え、災害時には物資の配送拠点としても利用できます。[全国都市緑化はちおうじフェア(東南エリア)]のサテライト会場となっています。



▲片倉城跡公園／室町時代に築城された片倉城の名残りとして、樹林や湿地、水面など多様な自然風景に親しめる公園。早春にはカタクリ、初夏にはハナショウブが見頃を迎え、多くの人が散策に訪れます。



▲陣馬山／陣馬山は神奈川県相模原市緑区との境にあり、標高は855メートルで、頂上には富士山に向かっていなく「白馬像」があります。晴天時には東に都心の超高層ビル群、西に富士山を望むことができます。

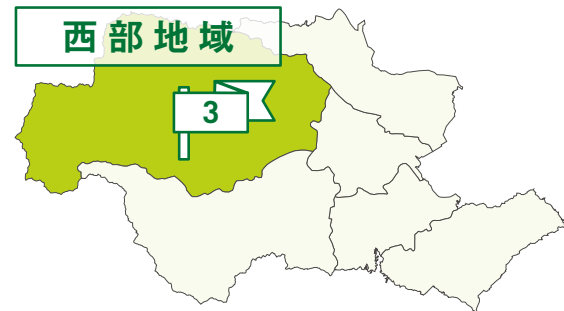


▲八王子城跡／北条氏照が築城した関東屈指の山城で、「日本100名城」に選定されています。華嚴菩薩という名僧が、この地に牛頭天王と8人の王子をまつり、八王子権現と称したことが八王子の起源とされています。



▲小田野中央公園／市民による「手づくり公園」。市と地域との協働による公園管理の新しい形として、注目されています。春の「さくらまつり」では河津桜を楽しめます。

西部地域



自然と歴史・文化資源が豊富

豊かな自然環境や、国史跡八王子城跡などの歴史・文化資源が豊富です。

一方、圏央道の整備に伴い、企業誘致や物流拠点としての整備も進めています。

東部地域



大学と商業施設が織りなすまちなみ

多摩都市モノレールや京王相模原線が走り、多くの大学が集まる学生のまちです。大規模商業施設も集積し、活気にあふれています。



▲学生が集まるまち／明星大学・帝京大学・帝京短期大学・中央大学・首都大学東京が立地しています。南大沢駅周辺は多くの学生で活気にあふれています。



▲アウトレットモール／南大沢駅すぐという便利さから市内外から多くの買い物客が訪れます。100を超える店舗が軒を連ね、子ども向けの遊戯施設やイベント用のステージも用意されています。



▲長池公園／農業用の溜池を活用し、小川や湿地、雑木林に囲まれた自然保全型の公園。大正初期に建設された新宿区の四谷見附橋を移築復元した「長池見附橋」がシンボルになっています。

西南部地域



地域に広がる豊かな自然や景観

高尾山や南浅川、甲州街道のいちよう並木など豊かな自然や景観が地域全体に広がっています。



▲高尾山／国内外から多くの観光客が訪れる高尾山は、年間300万人と世界一の登山者数を誇ります。暖・冷温帯樹林の境界にあるため、カシやブナ、モミなど、樹木の種類や数が豊富で、生物多様性の山としても知られています。



▲都立南公園／大正天皇陵・昭和天皇陵の南に広がる公園。入口から伸びる道には桜並木が続いています。野球場や遊具、じゃぶじゃぶ池といった施設があり、一日楽しめるスポットです。



▲甲州街道いちよう並木／沿道には大正天皇の御陵造営を記念してイチヨウの木が植えられました。このイチヨウの色づきころ、市民手作りのお祭り「八王子いちよう祭り」が開催されています。

1. みんなで担う 公共と協働のまち

① 市民自治の推進

幅広い世代の誰もが地域活動に気軽に参加でき、住民同士がつながりを育み、生き活きと活動できるよう、地域コミュニティ活動を支援します。

また、市民の市政への主体的な参加を促進するため、参加しやすい環境整備をすすめ、様々な市民や団体の特性を活かした市民協働をさらにすすめていきます。

② 市民が納得できるサービスの提供

市民との協働のまちづくりをすすめていくために、広報・広聴活動を充実するとともに ICT（情報通信技術）の活用などにより、市民が市政情報や政策課題を共有できる仕組みを整え、行政との相互理解を深め、市民が納得できるサービスの向上に努めます。



③ 地方分権時代にふさわしい 行財政運営の推進

自立した都市の実現に向け、地域の特性を活かし市民ニーズに応える地方分権を積極的にすすめます。また、財政規律に基づいた健全な財政運営と、社会情勢の変化に対応した効果・効率的な行政運営に取り組み、「私たちが目指すまち」を計画的に実現していきます。

人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子

2. 健康で笑顔あふれる、 ふれあい、支えあいのまち

① 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

一人ひとりの人権が尊重され、互いに個性と能力が発揮でき、誰もが平和で心豊かに暮らせる社会を目指します。

また、市民が安心して日常生活を送れるよう、暮らしの相談・支援の充実に努めます。



② 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

地域の幅広い世代の様々な人々が交流し、支えあうことで、生きがいを感じることができ、高齢者・障害者やその家族が住み慣れた地域とともに安心して暮らせる地域福祉を推進します。

③ 保健医療の充実

市民が生涯を通じて自ら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で心身ともに健康で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携を強化し、保健医療の充実に努めます。

基本理念：人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子

1. みんなで担う公共と協働のまち

- ① 市民自治の推進
- ② 市民が納得できるサービスの提供
- ③ 地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

2. 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

- ① 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進
- ② 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり
- ③ 保健医療の充実

3. 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

- ① 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり
- ② 未来をひらく子どもを育てる教育
- ③ 学びを活かせる生涯学習の推進
- ④ 未来につながる文化の継承と創造

八王子の未来

子どもたちが考えるまちの未来。その純粋な想いはたくさんの希望に満ちあふれています。安心して暮らせるまち、自然であふれるまち、いきいきと暮らせるまち。八王子市は輝く未来につながるまちづくりを進めています。

4. 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

- ① 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり
- ② 地域力を活かした安全で安心なまちづくり
- ③ 快適で人にやさしい交通環境づくり

5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

- ① 地域経済を支える産業の振興
- ② まちの活力を創出する産業
- ③ まちの魅力を向上させる産業

6. 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

- ① 一人ひとりが考え、ともに守る環境
- ② 環境負荷の少ないまちづくり
- ③ 自然と共生した安全で快適な環境

5. 魅力あふれる産業で にぎわう活力あるまち

① 地域経済を支える産業の振興

産業を担う人材を育成するとともに、市や産業支援機関などの持つ強みを相互に活かし、多様な産業が広域的に結び付き発展していけるよう、産業振興の体制を強化していきます。
また、中小事業者支援や企業誘致を推進し、地域経済を活性化させていきます。
さらに、雇用・就労を支援し、安心して働くことができる労働環境を整備していきます。



② まちの活力を創出する産業

製造業や情報通信産業の発展に向け、産学連携や企業同士の連携促進などにより経営基盤の強化や新技術開発などを支援していきます。
また、起業者に必要とされるノウハウの提供や環境・医療・介護などの新産業分野に取り組む事業者に対する技術的課題の解決などに向け取り組んでいきます。

③ まちの魅力を向上させる産業

地域づくりを支える商店街の振興支援を行い、にぎわいのある中心市街地を形成していくとともに、恵まれた地域資源を活かした観光産業の振興をはかります。
また、地産地消を推進するなど都市型農業の確立に努めるほか、地域の名産品の発掘や開発を促進します。

3. 生き活きと子どもが育ち、 学びが豊かな心を育むまち

① 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

安心して子どもを生み、育てやすい環境を整え、子どもが心身ともに健やかに成長できる子育て・子育て支援の充実に努めます。
また、子どもが地域の様々な人々とかわることで多様な価値観を学び成長できるよう、地域で子どもを育てる環境づくりをすすめます。

② 未来をひらく子どもを育てる教育

児童・生徒一人ひとりに向き合った指導により、子どもたちが意欲を持って学び、生き活きと学校生活を送れるよう努めます。
また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを育むとともに、学校が持つ教育資源を活用し、地域活動を行うきっかけとなる学校づくりをすすめます。

③ 学びを活かせる生涯学習の推進

誰もが、いつでも、どこでも学べ、学んだ知識や経験を地域で活かし、市民同士がつながりを育むことができる生涯学習環境の充実に努めます。
また、スポーツ・レクリエーションが生活の一部として定着し、市民が生涯を通じて健康で生き活きと暮らせるよう、スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実に努めます。

④ 未来につながる文化の継承と創造

市民同士が文化活動の輪を広げ、新たな文化を育んでいけるよう、市民文化の振興をはかります。
また、誰もが八王子に誇りと愛着を感じられるよう、伝統文化にふれる機会の充実に努め、市民とともに歴史と伝統文化を次世代へ継承していきます。
さらに、市民が多様な国と地域の文化を理解し、新たな交流につなげていく文化交流を推進していきます。



人とひと、人と自然が響き合い、

みんなで幸せを紡ぐまち八王子

6. 一人ひとりが育てる、 人と自然が豊かにつながるまち

① 一人ひとりが考え、ともに守る環境

自然とのふれあいを通して、大人も子どもも自然環境を守ることの大切さを学び、行動につなげられる機会の充実に努めます。
また、市民・事業者などの様々な団体が連携した地域における環境保全活動を推進します。

② 環境負荷の少ないまちづくり

市民一人ひとりが地球環境にやさしい生活スタイルへの転換をすすめていくとともに、事業者・大学などの連携により、CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの普及促進に努めます。
また、ごみの発生抑制や資源としての有効利用に取り組み、市民・事業者と一体となって循環型社会を構築していきます。



③ 自然と共生した安全で快適な環境

人と自然が共生する社会を築くため、健全な水循環の再生に努め、みどりを保全していくとともに、大人も子どもも自然に親しみ、憩うことができる環境づくりをすすめます。
また、安全で良好な生活環境を守るため、環境汚染の対策などに取り組めます。

4. 安心・快適で、 地域の多様性を活かしたまち

① 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

高齢化の進展や人口減少など社会情勢の変化を見据えた、持続可能なまちづくりを計画的にすすめるとともに、地域の活力と魅力の創出に資する国・都の未利用地の利活用や主要駅周辺整備により、にぎわいを創出していきます。
また、良好な都市景観の形成を推進し、誰もが快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインのまちづくりや身近に緑を感じられる都市緑化に取り組めます。



② 地域力を活かした安全で安心なまちづくり

災害から市民の生命や財産を守るため、災害に強い都市基盤整備を計画的にすすめていくとともに、大規模災害に迅速かつ的確に対応するため、関係機関との連携など防災体制を整えます。
また、市民が安全で安心して日常生活を送ることができるよう、自助・共助体制を整え、地域の防災・防犯機能を強化します。

③ 快適で人にやさしい交通環境づくり

利用者の利便性の向上や交通渋滞を緩和するために、道路交通網などの整備を計画的にすすめるとともに、自動車から公共交通への利用転換を推進します。
また、安全な道路環境の整備をすすめ、交通安全対策の充実に努めるとともに、環境負荷の少ない自転車への転換を推進します。

伝統から進歩へ、 歩み続けて欲しい

● 伝統、文化、歴史 魅力があふれるまち

私が八王子に住み始めてから30年ほど経っていますが、今では第二の故郷。
北海道生まれだけど「北島さんは八王子でしょ」なんて言われるようにもなりましたね。

八王子には豊かな自然をはじめ、八王子まつりなどの伝統文化、そして数多くの大学がある若者のまちといった、たくさんの魅力が揃っている。100年の歴史を重ねてきた八王子にとっては、私はまだ新参者ですが、八王子の一員であることに誇りを持っています。

● 世界にも自慢できる 輝く八王子へ

八王子市には豊かな歴史がありますが、一方で歴史ばかりを振り返るのではなく、これからの未来を創っていくことが大切だと思います。それには、八王子に住む若者には、積極的にまちづくりに参加してもらい、これまでの八王子を築いてきた方々がそれをサポートする、これが大事なんじゃないでしょうか。



歌手
北島 三郎さん
1936年北海道生まれ、八王子市在住。演歌を歌い続けて50余年、八王子観光大使、八王子100年応援団の団長。



例年、北島さんが参加する、高尾山薬王院で行われる節分会。前年に活躍した人の幸を分けてもらい、福をもたらえるという。

● 住みよい、思い出の故郷

僕の思い出の中の八王子は、道路も舗装されていない、砂利道だらけの田舎町。高校を卒業する頃、やっと八王子駅に大きなビルができたのを覚えているな。その頃、駅前には立派なロータリーがあって、「織物の八王子」なんて書いてあった。

今でも度々友達に会いに帰ってくるけれど、同級生は八王子に大抵残っているよ。昔から、八王子にいれば、大抵のことができるから、特に都心へ出て行く必要がない。便利だし、何より住むのに居心地がいいまちだね。

● いつか八王子へ 恩を返したい

工務店をやっている父の仕事を見てきたことが、現在テレビでやっているDIY企画で役に立っているよ。八王子で育って、色々な経験をさせてもらった事には、いつか恩返しをしたいと思っているんだ。

例えば、DIYの知識を活かして、学生や子どもに向けて活動したり。一度住んだ人がまた戻ってきたいと思うようなまちになればいいと思っているよ。あまり都会にはなりすぎて欲しくはないかな。ただ、「八王子は東京」っていうのは、譲れないところだけだね。

タレント ヒロミさん

1965年生まれ、元八王子町出身。お笑い芸人を経て、現在は司会・俳優・実業家など、マルチに活躍。八王子100年応援団の副団長。



番組の企画で、市内の幼稚園をリフォーム。さまざまな仕掛けが詰まっていて、園児たちに好評。



シンガー・ソングライター
松任谷 由実さん
1954年生まれ、八日町出身。多くのアーティストへの楽曲提供も行なう、女性シンガー・ソングライターの草分け的存在。



昭和30年代の八日町周辺のようす。今なお松任谷さんの心に刻まれている八王子の風景。

都心とは違った 空気や光が流れるまち

● 好奇心いっぱい 子どもの頃の風景

鰻の寝床のように細長い敷地にある、甲州街道に面したお店、裏の自宅や従業員の寮に庭の井戸……。実家の呉服店が八日町にあり、子どもの頃の風景を今でもすごく思い出します。裏通りを歩いて小学校に通っていたんですが、途中に駄菓子屋や射的場、映画館に鰻屋さんとか、いろんなお店があつて。鰻屋さんでは、職人さんが樽いっぱいに入った鰻を毎朝捌いているんです。釘を刺してバンバン叩いて、ビューって裂いて。そのようすを「わあすごい」って見てて学校に遅れることもありました。

● 現代と歴史ある風景が 共存していけたら

こうして思い出すことはノスタルジックなことばかりだから、もっと歴史がありそうで、まだ『100周年』というのが、何だか意外でした。
八王子は、時の流れが少しゆったりとしていて、都心とは違う空気や光があるような気がするんです。まちなみはどんどん変わっていくけれど、残せるところはこのまま残っていくといいな。近代的なところと、黒塀のような古い風景が共存していけたら素敵だなと思います。

住み続けたいまちを 地域でつくる

● いっだって新しい人を 受け入れるまち

実は、町会の活動に熱心なのは、昔から住む人だけではありません。新しくこの地域に住み始めた人も町会長などの役職に就いています。そのため、私たち連合会では年に一度「新任町会長研修会」を開き、運営の方法から問題発生時の対処まで、持っているノウハウを全てお伝えしています。研修会と同時に、行政側の担当者や他の町会とのつながりを作る場にもなっています。お互いに顔の見える状態をつくることで、自分の地区の悩みを相談したり、情報交換しやすい環境を作っています。

● 住民同士のつながりが 地域の縁を生む

八王子は昔からのまちですが、都心部のベッドタウンでもあって、両方の性質が混ざりあつて市民同士の「程よい距離感」を作っているように感じています。新しい住民ばかりだったら、あるいは昔からの住民ばかりだったら、このようにはいかないうちでしょう。
町会は、地域の皆さんをつなぐ役割も担っています。他者の立場を互いに理解しあうことで、もっと多くの人が「住み続けたいまち」になればいいと願っています。



八王子市町会自治会連合会 会長
秋間 利久さん
1944年生まれ。元横山町出身。市内356団体が所属する八王子市町会自治会連合会の会長。



新任町会長研修会のようす。新任町会長が困ることがないように、総会のやり方など、町会運営のいろはを説明する。



特定非営利活動法人
八王子市民活動協議会 理事長
石井 利一さん
1934年生まれ、長沼町在住。民間の中間支援団体として15年以上にわたって八王子市の市民活動をサポートし続けている。

「地域の縁を育む 「お父さんお帰りなさい」

市民がつくりあげる
八王子というまち

八王子市では現在、600を超える市民団体がまちづくり、環境、教育、福祉、国際交流、文化、スポーツなど、あらゆる分野で活躍しています。私たちは民間の中間支援団体として、八王子の地域活動をサポートしています。

平成15年にスタートした「お父さんお帰りなさいパーティ」は、市民団体とシニア世代の「お見合い」の場。会社一筋で過ごしてきた人にとっては、地域とのつながりづくりの場です。八王子を「自分のまち」にしてもらえないうきつけになればと思っています。

市民活動を通じて
八王子の魅力を再発見

私自身、地域の活動にかかわり始めたのは定年を迎えてからです。それまでは仕事一筋で、八王子に対しては「都内だけでも自然が多くて落ち着くまち」といった印象があるくらいで。市民活動にかかわって、多くの人の目線を借りることで、八王子というまちのさまざまな表情に気がつきましたね。活動に参加している人々も、多くが新しくこのまちにきた人たち。地域の問題を地域で共有し、ともに解決に向かうことで、新しい縁が育まれることを願っています。



お父さんお帰りなさいパーティのようす。シニア世代に、それぞれの経験を再び活かしてもらいたい思いから始まった。

宿場町からつづく 「交流の舞台」として

豊かな自然・文化の
魅力を知ること

八王子は、私が子どもの頃に親しんだ自然を、今でも数多く残しています。高尾山に生息する植物はおよそ1600種にのぼるとも言われていて、ひとつの山だけでこれだけの種類が確認できるのは世界的にも珍しいそうです。また、歴史的遺産にも恵まれ、例えば八王子城と滝山城という名城が二つもあります。こうした豊かな自然や歴史的遺産を大切に引き継ぎながら、その魅力をより多くの人々と共有することが、八王子の次の100年をつくると思っています。



八王子観光コンベンション協会
会長
大野 彰さん
1939年生まれ。小比企町在住。八王子市役所を定年退職後、観光協会の専務理事などを経て現職。



高尾山の麓と中腹を往復するケーブルカー。世界的な観光地の足として、多くの人が楽しめる高尾山をサポートする。

八王子が提示する
これからの観光地の姿

八王子は豊富な観光資源を持ちながら、都市としての利便性も兼ね備えています。こうした特徴を最大限に活かすべく、八王子観光コンベンション協会が発足しました。観光地としての魅力をPRするのはもちろん、特に力を入れてるのはビジネスイベントの誘致です。かつて八王子は、多様な人々が混交する宿場町でした。展示会、国際会議などを開催することで、国内外の人々の「交流の舞台」になればと思っています。

学生ならではの企画力で 学園都市を活性化

市民と学生がもつと
交流を深められるように

八王子学生委員会は市内の学生によってつくられた組織で、市民の皆さんと学生が交流を深める活動を行っています。

5月に開催される市内の学生らによるイベント「学生天国」は、委員会の活動のなかでも一番大きなイベント。前年の11月からステージや展示などに参加する団体の募集をはじめ、春休みには広告協賛のお願いに各企業をまわります。自分たちが参加するブースの内容も詰めていくのですが、一からの企画は戸惑うことばかりでした。

委員会活動の醍醐味を
次の世代に伝え広げたい

それでもメンバーでアイデアを重ねた結果、イベント当日は皆さんの笑顔を見ることができてとても感激しました。

学生天国以外にも国際交流フェスティバルやいちよう祭りへの参加、学生独自の視点でつくる情報誌の発行など、大学では経験できないことをこの委員会で取り組みたいところ。大きなやりがいを感じます。今後は委員会のメンバーをもっと増やし、次の世代に託していきたいですね。



八王子学生委員会
川村 彩奈さん
1997年生まれ。八王子学生委員会の一員としてイベントの企画や運営などを通じて学園都市・八王子の魅力を発信している。



学生天国開催にあたり委員会でも市長を表敬訪問。激励の言葉をいただき、活動に奮起したのは良い思い出。

地域の人のつながりは、 これからもまちの財産

人と人のつながりが
生きているまち

八王子は、都市化も進みましたが、昔の良さを残した地域も少なくないと感じます。人のつながりがしっかりとしているところが多く、町会・自治会や福祉団体もきちんと機能しています。

私たち民生・児童委員の活動では、地域の人のつながりが何より大事ですから、その点ややりやすさを感じることが多いですね。おかげさまで、当市の民生・児童委員は欠員が少なく、充足率（定数に対する委嘱数の割合）は東京都全体でもトップクラスなんです。

だれもが安心して
暮らせる八王子へ

民生・児童委員に携わって10年ほどになります。ひとり暮らしの高齢者やお子さんの窮状に接することもありますが、行政、社会福祉協議会、高齢者あんしん相談センター、児童相談所など適切な関係機関との良きパイプ役であれ、という使命を胸に活動しています。市の支援については、常に大変ありがたく感じています。65歳以上の高齢者が市民の約25%を占めるようになってきていることもあり、今後とも安心して暮らせるまちづくりを行政とともに進めていきたいですね。



八王子市民生委員・
児童委員協議会 会長
内藤 栄一さん
1944年生まれ。大和田町在住。教職を定年後、民生・児童委員に。現在、八王子市民生委員児童委員協議会会長、第6地区区会長。



平成29年7月に開催された民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会のようす。

姉妹都市・海外友好交流都市 からの✉️メッセージ

八王子市と所縁がある姉妹都市と海外友好交流都市とは、相互に交流を深め、ともに発展をめざしています。各都市のお祝いメッセージを紹介します。

✉️
1

北海道 苫小牧市



岩倉 博文 市長



八王子市制施行100周年を迎えられたことを、心より御祝い申し上げます。

100年という歳月の間、力強く発展の道を歩まれ、近年では平成27年4月に東京都初の中核市となり、人口58万人の多摩地区のリーディングシティとして、また21の大学を抱えた学園都市としての発展を続けておられますことに、深甚なる敬意を表する次第でございます。

八王子市と当市は、江戸時代後期に八王子千人同心が北辺警備と開拓のため勇払原野に移住したのを縁として、昭和48年に姉妹都市の盟約を結んで以来、40年以上にわたり様々な事業を通して両市の絆を深めさせています。

八王子市の市制施行100周年にあたりまして、小田原市を代表して、謹んでお慶び申し上げます。

貴市とは、北条五代の中でもひととき武勇の誉れ高い三代・氏康の子である、八王子城主の氏照、寄居町の鉢形城主の氏邦、小田原城主の氏政のご縁から、平成6年に3市町の観光協会が「北條三兄弟三領共同宣言」を締結、それぞれの北条ゆかりのイベントに参加し合うなど、市民を中心とした交流が進められてきました。

北条早雲の時代から約500年の時を隔て、昨年、この3市町で姉妹都市盟約を結び、交流のさらなる発展を目指すための第一歩を新たに踏み

出しました。当時とは全く異なる現代の情勢ではありますが、今を生きる私たちが交流を深めていくことで、強くゆるぎない絆を育んでいけるものと確信しています。

ただいております。今後におきましても、お互いの更なる発展のため、これまで同様の親密な交流が継続され、「姉妹都市の歴史」がさらに厚みを増していくことを心より願っております。

結びに、市制施行100周年を迎えられた八王子市のますますの御発展と市民の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、御祝いの言葉といたします。



✉️
2

栃木県 日光市



斎藤 文夫 市長



八王子市制100周年、誠におめでとうございます。

石森市長を始め、八王子市民の皆様には、日頃から日光市と交流を深めていただき、厚くお礼申し上げます。

八王子市と日光市は、江戸時代、八王子千人同心が「日光火の番」として日光山の防火と警備に勤められたご縁により、昭和49年に姉妹都市の盟約を締結いたしました。さらに、苫小牧市とともに三姉妹都市として、

固い絆で結ばれています。

八王子市は、織物業や製造業などを中心に、人口50万人を越す中核都市として発展されました。このことに、心から敬意を表する次第です。

また、都市農業の拠点、学園都市、多摩丘陵の自然等の多様な資源は、八王子市の大きな魅力であり、市政発展の源であると考えております。

今後とも、これまで同様の親密な交流が継続され、お互いのさらなる発展につながることを期待いたします。

結びに、めでたく市制100周年を迎えられた八王子市の益々のご発展と、市民の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

に携わってこられた貴市当局の並々ならぬ御辛苦、及び市民皆様方の深い理解と協力並びに関係各位の強力な御支援の賜物であると、深く敬意を表するものであります。

さて、昨年10月1日に、北条氏の縁から、寄居町は、八王子市、小田原市の2市1町で姉妹都市盟約を締結させていただきました。今後は、さらなる都市間の交流を図り、ともに発展していきたいと考えております。

結びに、八王子市市制100周年を機に、さらなる御発展と市民皆様方の御健勝を心よりお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

✉️
3

神奈川県 小田原市



加藤 憲一 市長



✉️
4

埼玉県 寄居町



花輪 利一郎 町長



3

韓国

始興市



金 允植市長



4

ドイツ

ヴリーツェン市



ウヴェ・ジーベルト市長



八王子市市制施行100周年、誠におめでとうございます。

よき隣人は欠くことのできない大切な存在にほかなりません。八王子市と始興市は、2006年から文化・スポーツ・青少年など、さまざまな交流を通じて友好を深め、ともに発展してまいりました。

両市はこれまで以上に緊密に連携して交流を重ねていくことで、国境を越えて、ともに未来を拓いていくパートナーとなれるよう願っております。始興市はこれからも八王子市とともに誠心誠意歩んでまいります。

100周年の輝かしい歴史を刻んだ八王子市が、さらなる100年に向け、世界を代表する大都市へと、より一層発展されますことを願ってやみません。

あらためて八王子市制100周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

八王子市市制100周年にあたり心からお祝い申し上げます。石森市長をはじめ八王子市民の皆様が、幸福に安心して暮らし、そして何よりも健康でありますことを願っております。

八王子市で生まれ、そしてヴリーツェン市で亡くなられた日本人医師、肥沼信次博士を縁として両市は結びついています。私たちは、これからも博士の功績を語り継いでいくとともに、その精神も受け継いでまいります。

本年、石森市長が訪問団の皆様とともにヴリーツェン市を訪問されたことは光栄なことであります。多くの方々の見守る中、石森市長と私は、両市の友好交流協定に調印することができました。

ヴリーツェン市をパートナーとして選定していただいた信頼に対して、重ねて御礼申し上げます。

末筆ながら、八王子市が災害などに見舞われることなく、末永く市民の皆さまから愛される住みよいまちであり続けますようお祈りいたしております。

하치오지시의 시제 100 주년을 진심으로 축하드립니다.

좋은 이웃은 어떤 존재보다 소중한입니다. 하치오지시는 우리 시흥시와 지난 2006년부터 문화・체육・청소년 등 다양한 분야의 교류를 통해 우정을 다지고 함께 발전해왔습니다.

지금까지 그래왔듯이 앞으로도 양시가 상호간 긴밀한 교류를 통해 국경을 넘어 함께 미래를 설계할 수 있는 동반자가 되길 바랍니다. 저희 시흥시는 언제나 믿음을 가지고 하치오지시와 함께 나아가겠습니다.

지난 100년간 하치오지시가 걸어왔던 빛나는 과거를 거울삼아 앞으로의 100년은 일본을 넘어 세계를 대표할 수 있는 도시가 되길 기원합니다.

다시 한번 하치오지시의 시제 100 주년을 축하드립니다.

在秋风送爽，果实飘香的金秋时节，欣慰八王子市迎来建市100周年纪念庆典。在此，我谨代表泰安市人民政府和全市人民，向贵市致以热烈祝贺和诚挚问候！

2006年我市与贵市正式缔结友好合作关系城市。自此以来，在两市政府和各界的共同努力下，不仅政府间保持互访交流，同时还积极开展文化、经贸、旅游以及青少年间文化艺术、读书绘画，中日乒乓球友谊赛等丰富多彩的民间交流活动，增进了相互了解，有力地促进了两市友好合作关系不断深入发展。

我相信，八王子市在您的领导下，经济社会更加繁荣发展，人民生活幸福美满。我衷心希望以此为契机，进一步加强两市在各领域的务实合作，推动友好合作关系迈上新台阶。

祝贵市建市100周年庆典圆满成功！祝八王子市繁荣昌盛！



Zuerst möchte ich Ihnen meine herzlichsten Grüsse zum 100-jährigen Stadtjubiläum Hachiojis übermitteln. Glück, Wohlergehen und vor allem Gesundheit sollen Sie und alle Bürger Ihrer Stadt stets begleiten.

Uns verbindet das Schicksal des japanischen Arztes Dr. Nobutsugu Koyenuma, der in Hachioji geboren wurde und in Wriezen seine letzte Ruhe fand. Sein Vermächtnis wollen wir bewahren und in seinem Geiste in unserer Zeit wirken.

Es war uns eine große Ehre, dass Sie in diesem Jahr mit einer Delegation aus Hachioji zu Gast in Wriezen waren und wir die Freundschaftvereinbarung unserer beider Städte unterzeichnen konnten.

Für das entgegengebrachte Vertrauen, sich Wriezen als Partner ausgesucht zu haben, nochmals vielen Dank.

Möge die Stadt Hachioji von Unheil verschont bleiben und seinen Bürgern eine lebens- und lebenswerte Heimatstadt sein.

TAKAO・守護八王子溫暖與歡笑的高尾山・ TAKAO・象徵城市蛻變與進步的高雄之名。

身處大洋兩端的我們，同以身為 TAKAO 的子民為傲。

美麗相似的緣分，讓高雄和八王子於2006年締結為友好城市，為雙方友誼立下堅定的基礎。此後，八王子友人總以無比熱情參與每年的高雄燈會，用精湛的表演點亮高雄新年；而年年的八王子祭，高雄的孩子們也以嘹唳歌聲傳唱對八王子的祝福。彼此緊密的友誼，更體現文化、教育、觀光各種領域的合作，促成許多學校締盟、合辦藝術展覽以及旅客的互訪，讓高雄和八王子的情誼更深更廣，並藉由世代的傳承永遠延續下去。

百年前，八王子彷彿一朵沁香的山百合綻放於關東平原之上，從此馨香繚繞不絕。

祝福八王子市，充滿活力向下一個百年持續前進、成長，請隨時記得，在海洋的另一端，永遠有最好的朋友——高雄，與八王子一起，為建設讓市民快樂生活的城市努力打拚。

八王子市が市制施行100周年の記念すべき節目を迎えられましたこと、御同慶の至りであります。泰安市人民政府及び泰安市民を代表して、心からお慶び申し上げます。

2006年に友好交流協定を締結して以来、文化、経済、観光など、幅広い分野で交流事業が進められており、政府間の交流はもとより、文化芸術、卓球交歓大会等、多彩な青少年交流を中心に市民交流も盛んに行われることで、両市の友好と理解は深まり、連携の輪は広がってまいりました。

石森市長のリーダーシップのもと、八王子市がさらに発展され、市民生活が豊かで幸福であるよう願っております。市制100周年を節目として、両市の連携がこれまで以上に進展し、友好関係がより一層深まりますことを心から願っております。

末筆となりますが、市制施行100周年記念式典の御盛会と八王子市の御繁栄、御発展をお祈り申し上げます。

TAKAO、八王子市民の笑顔と幸せを温かく見守っている高尾山。

TAKAO、劇的に発展・進化しつづけている都市、高雄市。

海を隔てた私たちはともにTAKAOの民であることを誇りに思います。美しいゆかりのもと、高雄市と八王子市は2006年に友好交流協定を締結し、友好関係の礎を確かなものとなりました。両市の交流は、教育、文化、観光など、様々な分野で活発に行われ、緊密な友好関係は年々深まっています。この友好の絆が受け継がれ、永遠に続きますことを願っております。百年前、八王子市は威厳あるヤマユリのごとく咲き始め、今もなお、気品あふれる花のように咲き誇っています。八王子市が活力に満ち、次の百年に向けてさらに前進し、発展されることを願っております。海の向こうには最高の友人がいます。高雄市は八王子市とともに、市民が心地よく、楽しく暮らせるまちづくりを目指してまいります。

1

中国

泰安市



李 希信市長



2

台湾

高雄市



陳 菊市長



行政・議会

八王子市では、市民の皆さんの声を市政に活かし、住みよいまちづくりやきめ細かなサービスを提供するために、行政・議会が日々施策を進めています。

行政

八王子市では、「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」をまちづくりの基本理念に掲げ、市民と行政が互いの役割と責任ある行動により、豊かな地域社会を築く、「協働のまちづくり」を進め、活力あふれる自立都市の実現をめざしています。市民自治の推進を図り、市民自らが住みよいまちづくりを行えるよう地域コミュニティ活動を活性化させるとともに、市民福祉の向上をめざしてさまざまな市民サービスを提供し、保健・医療・福祉の施策の充実に努めています。

また、八王子は豊かな自然をはじめとし、長い歴史や伝統と文化など、地域資源に恵まれたまちです。各地域の特長ある多様な魅力を活かしたポテンシャルのあるまちづくりをめざすとともに、都市の整備を行って中核都市にふさわしい、都市機能の拡充を図ります。

これらを進める上で、行財政については、持続可能な自治体

経営を念頭に置きつつ、最小の経費で最大の効果を出せるように取り組んでいます。

議会

市民の代表として市政運営のチェックを委ねられています。市議会を構成する議員は定数40人と定めており、市議会議員は議会を構成し、市政を行うのに必要な予算や条例などを審議し、決定する役割を担っています。

議会の定例会は年4回、2月・6月・9月・11月に招集されます。また、臨時に一定の期間だけ開く臨時会も開催されます。

議会内部には「総務企画」「文教経済」「厚生」「都市環境」からなる常任委員会や、「都市づくり・ニュータウン対策」「交通対策」「復興支援・防災・危機管理対策」「次世代支援・高齢社会対策」について調査研究を行う特別委員会、議会運営委員会を設け、議会の運営を能率的に行なっています。

Administration

Hachioji City raises “a town in which people and people, and people and nature harmonize – Hachioji, a town that envelops everyone in happiness,” as our basic philosophy, and we seek to create a vigorous, independent city by promoting “cooperative town-building” by establishing an abundant regional society through responsible actions founded on the roles of the townspeople and administration.

We seek the promotion of self-government by the local residents, and while invigorating the regional community activities to enable local residents to proactively create an easy-to-live-in town, we will look to improve local welfare, offer a wide range of services to local residents, and strive to enhance health preservation, healthcare, and welfare policies.

Hachioji is also a city blessed with rich regional resources, starting with abundant nature, and also a long history and vibrant traditional culture. While pursuing high-potential town-building that accentuates the diverse appeal of our various regions, we will also carry out urban development and expand urban functions in a manner suitable to a central city.

Regarding administration finances, to promote the above, we are continuously working to achieve the maximum effect with the minimum expense while considering the sustainability of local government operations.

Council

Council members are entrusted with checking the operations of the city government as representatives of the local residents. The city council is fixed to 40 members, and the city council members form a council which serves to deliberate and decide the necessary budget and regulations for the mayor to govern the municipality.

Regular meetings of the council are convened four times a year, in February, June, September and November. Furthermore, an extraordinary session is held for a limited period during extraordinary periods.

The council carries out efficient operations by establishing standing committees such as the “general planning,” “education & economy,” “welfare,” and “urban environment” committees, special committees which carry out investigative research such as “City-building, New Town measures,” “transit measures,” “revival support, disaster prevention, emergency management measures,” and “next-generation support, ageing society measures,” and the committee on rules and administration.



八王子市議会議長
伊藤 裕司

八王子市議会副議長
村松 徹

市制 100 周年記念誌の 発刊にあたって

八王子市が市制施行 100 周年という記念すべき節目を迎えるにあたり、市議会を代表しお祝い申し上げます。

本市は、古くから交通の要衝として栄え、幾多の先人の功績により、多摩地域の中心都市として今日まで発展を続けてきました。

次の 100 年へのスタートでもある今、私たちは、少子高齢社会、人口減少社会と向き合いながらも、100 年の足跡をたどり、市民が安心して暮らせる活力あるまちづくり、八王子に住み続けたいまちづくりを目指していかなければなりません。

地方分権が進展している現在、市民の代表として二元代表制の一翼を担う議会の役割がますます重要になっていることを踏まえ、私たち八王子市議会は、次の 100 年も八王子市が活力ある自立都市として輝き続けるよう、議決機関としての重責を果たしてまいり所存です。市民の皆様におかれましては、引き続き、様々な場面でご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

On the Publication of the 100th Anniversary Memorial Booklet

On behalf of the Hachioji City Assembly, we would like to congratulate Hachioji City on celebrating its milestone 100th anniversary.

The city has flourished as a transportation hub since ancient times, and has continued to develop as the central city of the Tama area, thanks to the many achievements of our predecessors.

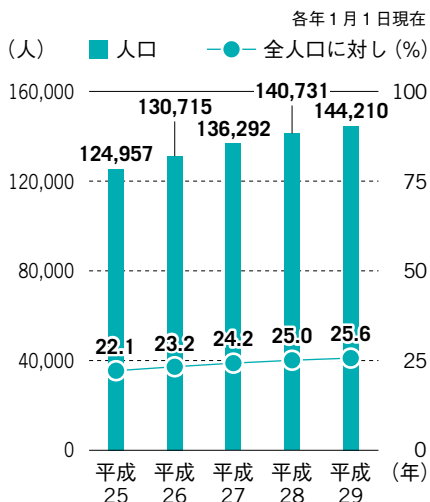
This anniversary also marks the beginning of the next 100 years. At this moment, we need to tackle the issues confronting a society with a declining birthrate and an aging and declining population. At the same time, we need to trace back the history and the course taken over the last 100 years in aiming to create a thriving city where its citizens can live with a sense of security, and where citizens will want to remain as its residents.

Assemblies, one of the arms of the dual system of government, are playing an increasingly critical role as a body representing the people today, amid the advances in decentralization. In this light, the Hachioji City Assembly is determined to fulfill the important responsibility of a legislative organization, in order to ensure that Hachioji City will continue to shine as a vibrant, independent city in the next 100 years. We would appreciate your continued guidance and support in this endeavor.



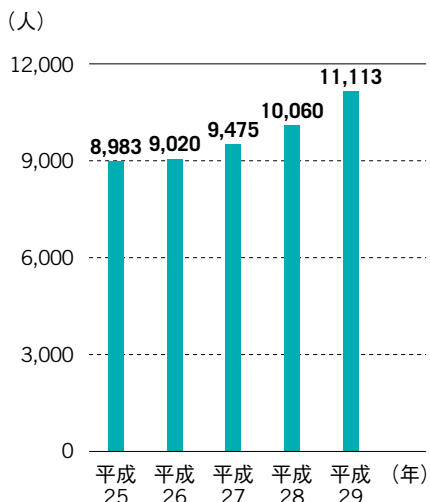
人口

高齢者（65歳以上）人口の推移



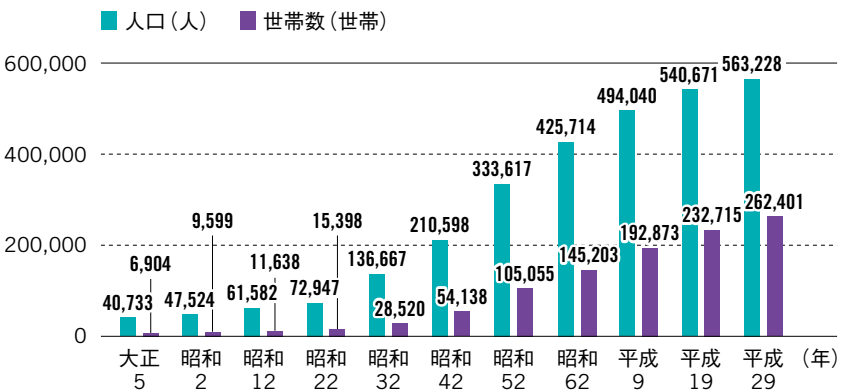
資料：市民部市民課

外国人登録人口の推移



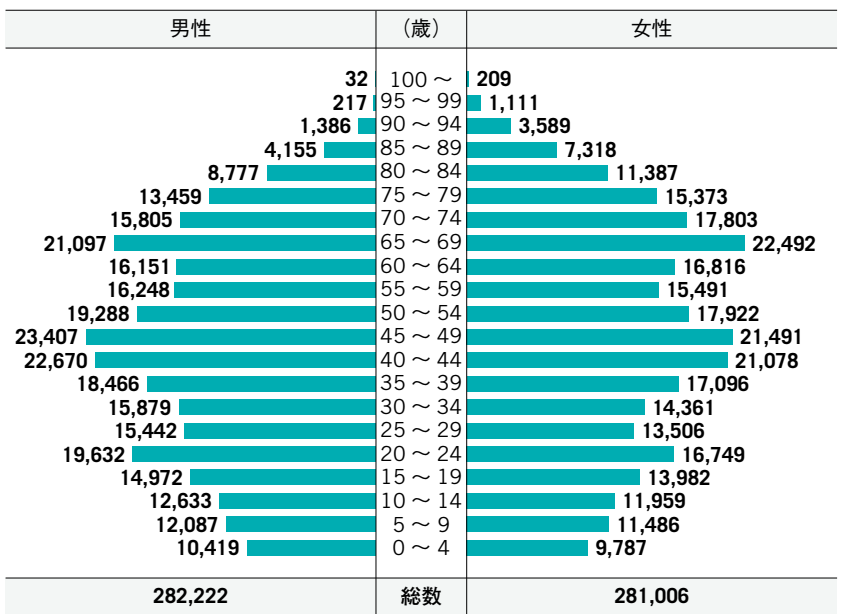
資料：市民部市民課

人口・世帯数の推移



資料：統計八王子

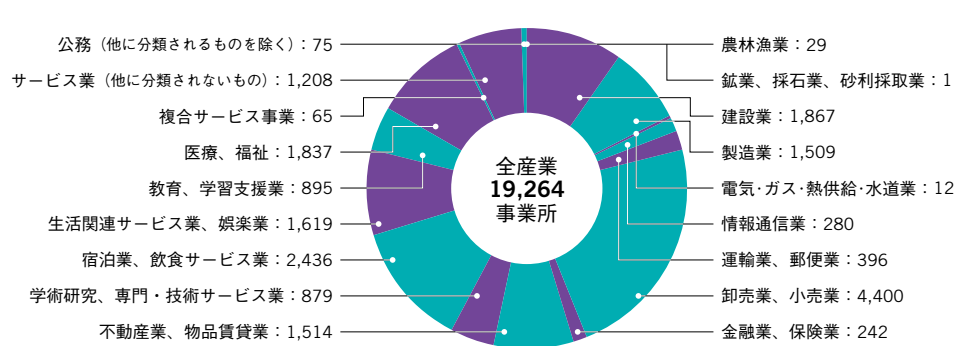
年齢（各歳）、男女別人口



資料：市民部市民課

産業

産業構造



資料：「経済センサス - 基礎調査報告」

農業

平成 27 年 2 月 1 日現在

区分	農家数 (戸)
自給的農家	805
販売農家	392
専業	168
兼業	224
第 1 種	44
第 2 種	180
合計	1,197

農家人口	1,388
------	-------

資料：「農林業センサス結果報告」



市の花：ヤマユリ

昭和 51 年 (1976)
市制 60 周年を記念して制定



市の木：イチョウ

昭和 51 年 (1976)
市制 60 周年を記念して制定

データで見る

八王子

P R O F I L E

八王子市は、東京都心から西へ約 40 キロメートル、新宿から電車で約 40 分の距離に位置しています。

地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海拔 200 メートルから 800 メートルほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野も続いています。

また、市内には 21 の大学等が立地し、約 10 万人の学生が学ぶ全国有数の学園都市でもあります。平成 27 年 (2015) 4 月からは東京都初の核市となり、平成 29 年には大正 6 年 (1917) の市制施行から 100 年を迎えるなど、人口 58 万人の多摩地区のリーディングシティとして発展を続けています。

面積 186.38km²

人口 住民基本台帳人口…563,228 人

外国人登録者数…11,113 人
(平成 29 年 1 月 1 日現在)



市徽章

大正 6 年 (1917)
市制施行を記念して制定

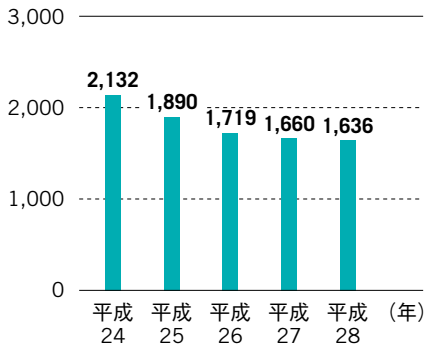


市の鳥：オオルリ

平成 3 年 (1991)
市制 75 周年を記念して制定

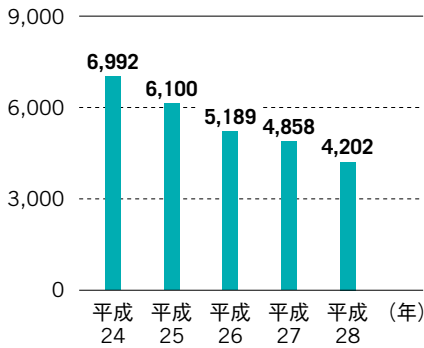
事件・事故

交通事故発生件数の推移（単位：件）



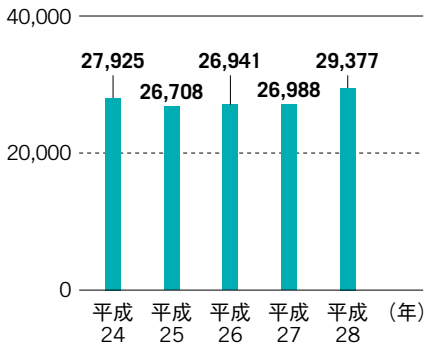
資料：「警視庁交通年鑑」

刑法犯罪発生件数の推移（単位：件）



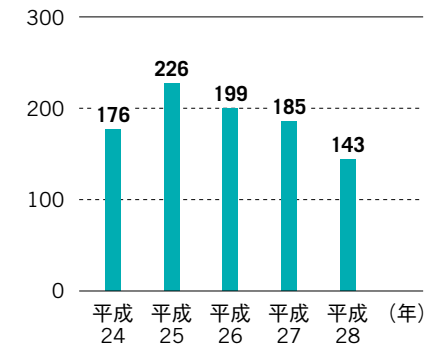
資料：警視庁

救急出場件数の推移（単位：件）



資料：東京消防庁八王子消防署

火災発生件数の推移（単位：件）



資料：東京消防庁八王子消防署

下水道の整備状況

各年度末現在

年度	整備区域			処理区域		
	管路延長 (km)	面積 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)	人口 (人)	水洗化人口 (人)
平成 24	2,081.78	8,379	558,880	8,377	558,799	542,280
平成 25	2,093.40	8,390	558,230	8,388	558,151	544,388
平成 26	2,101.10	8,396	557,312	8,394	557,234	544,948
平成 27	2,105.90	8,415	558,334	8,413	558,257	546,934
平成 28	2,119.10	8,428	559,122	8,426	559,046	548,484

資料：水循環部下水道課

ごみの収集状況（単位：t）

年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物	その他のごみ	合計
平成 24	82,166	7,134	2,036	175	32,619	238	124,368
平成 25	82,283	6,405	2,140	194	33,030	174	124,226
平成 26	83,236	5,836	2,215	213	32,553	195	124,248
平成 27	84,823	5,433	2,261	345	32,556	129	125,547
平成 28	85,216	5,190	2,373	372	31,608	132	124,891

資料：資源循環部ごみ減量対策課

福祉・教育

保育園の状況

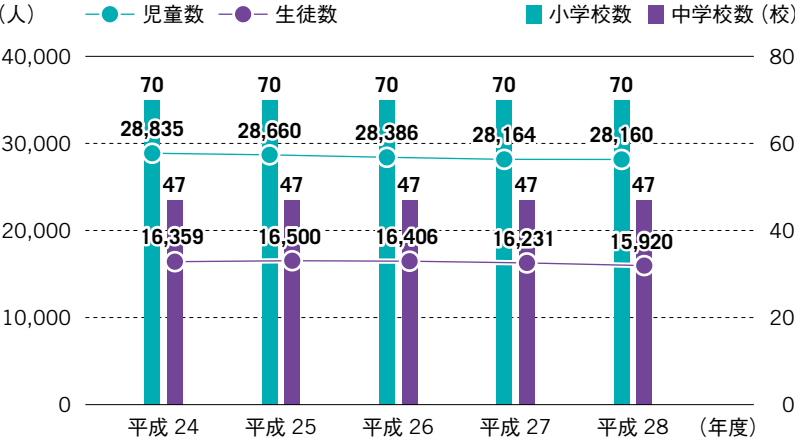
各年 4 月 1 日現在

年度	保育園数	入所定員(人)	在籍児童数（人）					
			計	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳以上
平成 24	86	9,425	9,685	688	1,303	1,749	1,936	4,009
平成 25	89	9,692	9,975	705	1,385	1,790	2,033	4,062
平成 26	91	9,877	10,211	741	1,460	1,857	2,013	4,140
平成 27	97	10,352	10,547	729	1,569	1,958	2,064	4,227
平成 28	99	10,625	10,729	810	1,619	1,957	2,108	4,235

資料：子ども家庭部保育幼稚園課

小・中学校数と児童・生徒数の推移

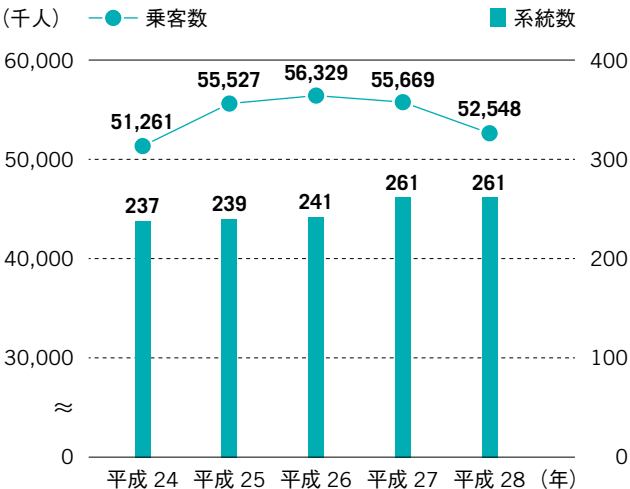
各年 5 月 1 日現在



資料：「学校基本統計」

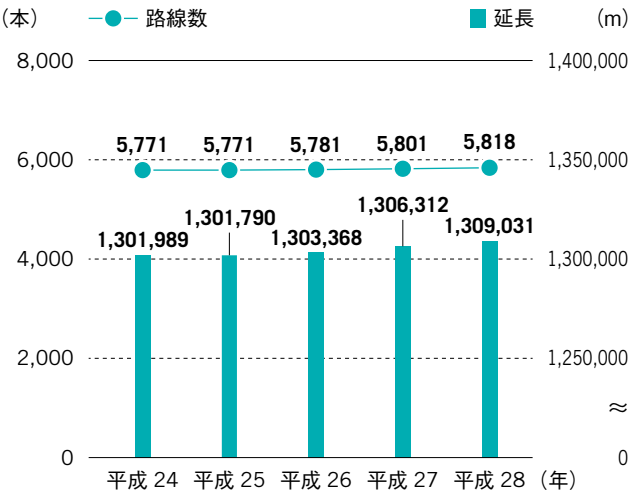
市民生活

定期路線バスの系統数・乗客数の推移



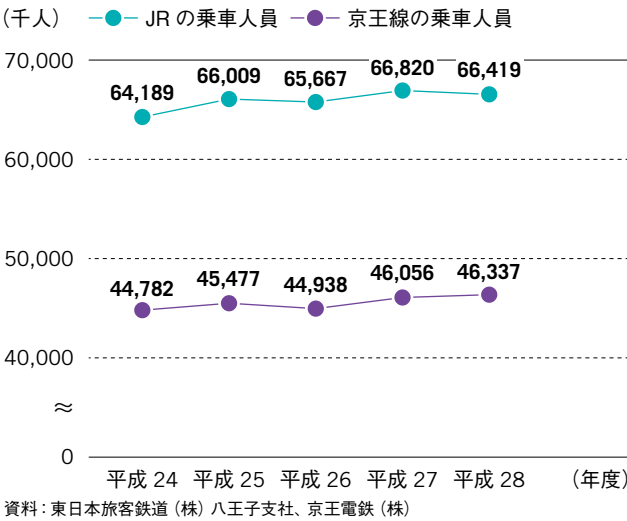
資料：京王電鉄バス（株）、西東京バス（株）、京王バス南（株）、神奈川中央交通（株）

市道路線本数と延長の推移



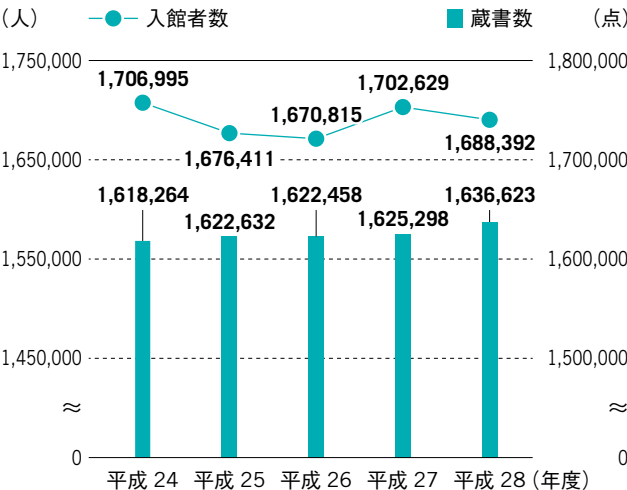
資料：道路交通部管理課

JR・京王線の乗車人員の推移



資料：東日本旅客鉄道（株）八王子支社、京王電鉄（株）

図書館の入館者数と蔵書数



資料：図書館部中央図書館

公園の状況

各年 4 月 1 日現在

区分	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
	公園数	面積 (㎡)	公園数	面積 (㎡)	公園数	面積 (㎡)	公園数	面積 (㎡)	公園数	面積 (㎡)
都市公園	772	6,464,200	781	6,521,039	784	6,568,993	790	6,588,806	795	6,757,618
街区公園	522	828,265	526	834,293	527	834,996	532	849,827	535	852,458
近隣公園	50	1,048,540	50	1,048,686	51	1,082,633	50	1,067,257	50	1,067,257
地区公園	3	233,122	3	233,115	3	233,115	3	233,115	3	233,115
総合公園	7	1,171,461	7	1,178,908	7	1,178,908	7	1,178,908	7	1,268,408
運動公園	3	264,617	3	264,567	3	264,617	3	264,617	3	264,639
特殊公園	2	87,221	2	86,591	2	95,481	3	110,633	3	107,737
都市緑地	185	2,830,974	190	2,874,879	191	2,879,243	192	2,884,449	194	2,964,004
遊び場	130	237,820	128	235,536	130	239,758	130	244,145	127	242,670
児童遊園	70	73,460	68	72,190	68	73,223	67	72,379	66	71,853
まちの広場	60	164,360	60	163,346	62	166,535	63	171,766	61	170,817
総数	902	6,702,020	909	6,756,575	914	6,808,751	920	6,832,951	922	7,000,288

資料：まちなみ整備部公園課

八王子市歌 City Song

昭和11年(1936)
市制20周年を記念して制定

作詞／北原白秋
作曲／山田耕筰

一、黎明 響高く 桑の都 風は光れり

八王子 旺んなり機業

新興の意気に起つべし

八王子(八王子) 古るき我が土

奮へ(いよよ) 多摩のますらを

二、水明 雲と碧く 桑の都 人は恵まる

八王子 豊かなり気運

神龍の飛躍 故あり

八王子(八王子) 古るき我が土

奮へ(いよよ) 多摩のますらを

三、清明 内つ国と 桑の都 山は横たふ

八王子仰ぐべし 御陵

関東の一の莊厳

八王子(八王子) 古るき我が土

奮へ(いよよ) 多摩のますらを

都市宣言 City Declarations

平和で明るい暮らしを実現するために、
私たちのまちは5つの都市宣言をしています。

- 八王子市親切都市宣言
昭和39年(1964)5月9日
(八王子市)
- 世界連邦平和都市宣言
昭和53年(1978)12月21日
(八王子市議会)
- 八王子市非核平和都市宣言
昭和57年(1982)6月29日
(八王子市議会)
- 八王子市交通安全都市宣言
昭和58年(1983)7月18日
(八王子市議会)
昭和58年(1983)8月6日
(八王子市)
- 八王子市男女共同参画都市宣言
平成11年(1999)12月6日
(八王子市)



11月：八王子いちよう祭り

1. 9月：越中八尾おわら風の舞 in 八王子／2. 10月：元八王子北條氏照まつり／
3. 10月：八王子フードフェスティバル

四季折々に魅せる、八王子の行事。

1. 1月：消防団出初式／2. 1月：どんど焼き／3. 2月：高尾山節分会

2月：全関東八王子夢街道駅伝競走大会



冬

歳時記

八王子

の四季

春



4月：フラワーフェスティバル由木

1. 3月：高尾梅郷梅まつり／2. 5月：健康・食育フェスタ／3. 5月：長房ふれあい端午まつり



1. 7月：八王子花火大会／2. 7月：八王子・夏の風物市(あさがお市)／3. 9月：踊れ西八夏まつり

8月：八王子まつり



夏